

# 第二次上田市図書館基本構想

上田市・上田市教育委員会

(欠)

# 第二次上田市図書館基本構想

## 目 次

第1章	はじめに	
1	構想の策定に当たって	1
2	構想の位置づけ	1
3	計画の期間	2
4	策定体制	2
第2章	上田市図書館の利用状況等	
1	図書館の利用者	3
2	図書館の利用状況	3
3	図書館の開館日数、開館・閉館時間	3
4	図書館職員	3
5	図書館の資料及びサービス	4
6	読書習慣	4
7	総合的な満足度	4
第3章	第一次構想の取組状況と課題	
1	図書館施設整備計画	5
2	図書館サービス提供計画	6
3	これからの図書館の運営	7
第4章	構想の体系と基本的な考え方	
1	基本理念	9
2	基本目標	9
3	構想の基本的な考え方	10
第5章	基本目標ごとの取組項目	
1	基本目標① 生涯学習の支援施設である図書館	
	取組項目1 課題解決のための情報提供	14
	取組項目2 利用者ニーズの把握と活用	14
	取組項目3 企画展示や講演会、講座等の開催	14
	取組項目4 高齢者・障がい者サービスの充実	15
	取組項目5 国際化に対応したサービスの提供	15
	取組項目6 子ども読書活動推進計画の更なる推進	15
	取組項目7 公共図書館と学校図書館との連携	16
	取組項目8 図書館職員の資質向上	16
2	基本目標② 図書館の施設整備と機能強化	
	取組項目9 上田図書館の施設整備	16
	取組項目10 上田図書館以外の施設整備	17

	取組項目11 中央図書館機能の検討	17
	取組項目12 地域図書館の役割の検討	17
	取組項目13 各図書館のあり方の検討	18
3	基本目標③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館	
	取組項目14 視聴覚資料サービスの充実	21
	取組項目15 地域・行政資料の積極的な収集、保存及び活用	21
	取組項目16 貴重資料の収集、整理、保存及び活用	22
	取組項目17 デジタルアーカイブの推進	22
4	基本目標④ 協働による地域とともにある図書館	
	取組項目18 市民協働の推進	22
	取組項目19 高校、短大、大学、専門学校等との協働	23
5	基本目標⑤ 積極的なサービスを提供する図書館	
	取組項目20 図書館利用者の拡大	23
	取組項目21 図書資料の収集、保存及び除籍	23
	取組項目22 関係機関等との連携と情報提供	24
	取組項目23 積極的な情報発信	24
	取組項目24 レファレンスの充実と利用促進	24
	取組項目25 データベースの利用促進	25
	取組項目26 全図書館のICタグ化	25
	取組項目27 電子サービスの調査及び研究	25
第6章	今後の図書館のあり方	
1	今後の図書館整備	26
2	今後の図書館運営	27
第7章	構想の推進に当たって	
1	図書館行政のいっそうの推進	30
2	計画の進捗管理、評価	30
○ 参考資料		
	資料1 上田市図書館利用者アンケート調査	33
	資料2 上田市子ども読書活動推進計画の体系	41
	資料3 市内の各図書館(エコール)の状況	42
	資料4 人口区分別蔵書冊数と県内他市の蔵書冊数	43
	資料5 策定経過等	44

# 第1章 はじめに

## 1 構想の策定に当たって

- 社会情勢が大きく変化する中で市民生活も多様化してきており、新たな学習ニーズが増えていくことが予想されます。図書館はそれに対応できるサービス提供体制や館内の環境を整え、市民が必要とする生涯学習や課題解決を支援できる図書館を目指す必要があります。

そのためには図書館の目指すべき将来像や解決すべき課題、具現化するための施策等を明確にし、改善に向けて取り組み、図書館機能の強化を図らなければなりません。

図書館基本構想は、市民の読書活動を更に推進するとともに、市民が学びを通して自己実現することをサポートするために、あるべき図書館像、サービス、施設、運営管理のあり方等について、その方向性を示すことを目的として策定するものです。

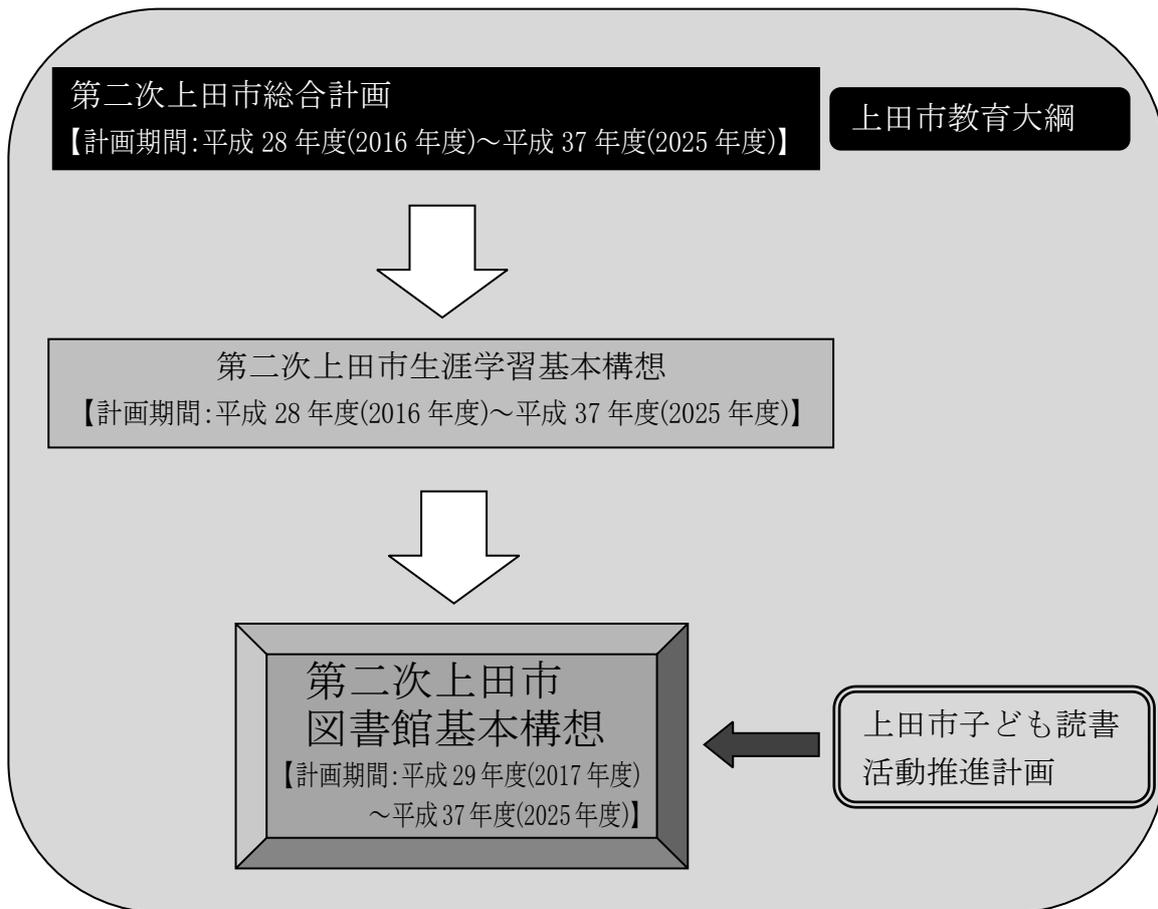
- 上田市教育委員会は、平成19年9月に「第一次上田市図書館基本構想」（以下「第一次構想」という。）を策定しました。合併前の町村では、図書館や図書室の建設計画があり、主に施設の配置に重点をおき、地域性を生かし各館に特色を持たせることに配慮した図書館基本構想を策定しました。

この構想に基づき丸子図書館と真田図書館の施設整備に取り組み、現在は上田図書館、上田情報ライブラリー、丸子図書館、真田図書館の4つの図書館、上田図書館創造館分室、武石公民館図書室の2つの図書室と移動図書館車により、市民の皆様への図書館サービスを行っています。

第一次構想策定から10年が経過し、上田市全体の図書館のあり方や役割分担、施設の整備、更には新しい時代の図書館運営まで含めて考えていく時期となっており、本市図書館運営の指針となる「第二次上田市図書館基本構想」（以下「第二次構想」という。）を策定し、計画的に事業を進めていきます。

## 2 構想の位置づけ

第二次構想は、「上田市教育大綱」の理念を踏まえ、「第二次上田市総合計画」（以下「総合計画」という。）と「第二次上田市生涯学習基本構想」（以下「生涯学習基本構想」という。）の個別計画として新たに策定するものです。



### 3 計画の期間

第二次構想は、総合計画、生涯学習基本構想の二つの個別計画として位置付けられていることから、平成29年度を初年度として、平成37年度までの9年間とし、上位計画との整合を図ります。

### 4 策定体制

第二次構想の策定に当たっては、利用者アンケートを実施し、取組項目の精査を行いました。

更に、図書館協議会委員の意見を基に、社会教育委員会において構想の内容について審議し、効果的な施策展開が可能となるよう留意しました。

## 第2章 上田市図書館の利用状況等

図書館の利用状況や要望等を把握するために、平成28年6月から7月にかけて上田図書館、同創造館分室、上田情報ライブラリー、丸子図書館、真田図書館の利用者を対象に「利用者アンケート調査」【資料1】を実施し、1,691名の方から回答をいただきました。

### 1 図書館の利用者

- 40代以上の女性の利用者が多く、特に上田図書館では半数の方が60代以上です。
- 図書館所在地近隣にお住まいの方の利用が多く、特に、創造館分室は顕著です。また、丸子図書館については、1割以上の方が近隣市町村の利用者です。

### 2 図書館の利用状況

- 月に数回利用される方が最も多く、また、市内の複数の図書館を利用している方も多い状況です。
- 本、雑誌等の貸出のため図書館を利用する方が最も多く、情報ライブラリーでは、講座、催し物の参加や自習に利用される方も多くあります。

### 3 図書館の開館日数、開館・閉館時間

- 概ね8割の利用者が現在の開館日数でよいと回答しています。
- 開館時間は、情報ライブラリーでは「土日祝日の開館を早くしてほしい」との要望が若干あるが、他館は概ね9割の利用者が現行の時間でよいと回答しています。
- 閉館時間は、概ね7割の利用者は「今まで通りでよい」とのことであるが、「土日祝日の閉館時間を遅くしてほしい」との要望も多くあります。

### 4 図書館職員

- カウンターでの対応は概ね8割、また、質問に対する案内、説明のわかりやすさについては概ね7割、本の知識については概ね6割以上の利用者に「満足」、「やや満足」の評価を受けています。

## 5 図書館の資料及びサービス

- 今後の取組については、多くの利用者が図書資料やサービスの充実を望んでいます。
- 上田図書館は施設整備の充実、情報ライブラリーは学習スペースの提供、創造館分室、丸子図書館、真田図書館の3館（室）は多くの利用者が見つけやすい本の配置を望んでいます。
- 上田地域図書館情報ネットワーク※1（以下「エコール」という。）を2割近くの利用者が「知らない、分からない」と回答し、また、調査・相談サービス（以下「レファレンス」※2という。）は、半数以上の利用者が「分からない・したことがない」と回答しています。
- 図書館では、インターネットによる蔵書検索や予約を行っていますが、概ね4割の利用者が「利用しない」と回答し、また、約15パーセントの方が「利用の仕方が分からない」と回答しています。
- ボランティアについては、なんらかの形で図書館ボランティアとしてかかわってもらえる可能性があり、特に真田図書館は関心が高いことが見受けられます。

## 6 読書習慣

- 読書量は、半数の利用者が1か月に1～5冊程度本を読んでいます。一方、電子書籍については、概ね8割の利用者が「利用していない」、「分からない・利用したことがない」と回答しています。
- 「子どもの読書習慣を育むには」の問いに対しては、「家庭での読書の習慣」が多く、次に「身近な大人の働きかけ」、「小学校・中学校での働きかけ」の順になっております。

## 7 総合的な満足度

- 利用者の7割以上の方が、「満足、おおむね満足」の評価をしています。

---

※1 上田地域図書館情報ネットワーク（愛称:エコール）：上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町の5市町村の公共図書館(室)、塩田公民館などがネットワークで結ばれ、1枚の利用者カードで図書の予約、貸出、返却がどこでもできます。「いつでも、どこでも、誰にでも」を目指して、平成7年12月にスタート。

※2 レファレンス：利用者からの問い合せに応じて、図書の照会、検索や資料提供を行うサービスのこと。

### 第3章 第一次構想の取組状況と課題

平成19年度に策定した第一次構想について、計画期間中の図書館の社会的な役割や利用者からの要望を念頭に事業を展開してきました。

第一次構想に基づく主な取組と成果、今後の課題について、総括します。

#### 1 図書館施設整備計画

第一次構想	成果と今後の課題
<p>① 図書館の規模</p> <p>25年後(平成44年)の市図書館全体での目標数値</p> <p>蔵書冊数 700,000冊</p> <p>開架冊数 420,000冊</p> <p>開架率 60パーセント</p> <p>蔵書冊数 年間8,000冊増</p>	<p>平成28年度末数値</p> <p>蔵書冊数 575,100冊</p> <p>開架冊数 347,300冊</p> <p>開架率 60パーセント</p> <p>蔵書冊数 年間18,600冊増</p>
<p>② 中央図書館の必要性</p> <p>上田図書館が中央館的な機能を担うことにより、一体的運営により効率化と均一化を図ることができます。</p>	<p>中央館的機能は、各館の調整面のみにとどまっています。上田市が複数の図書館を持つことによるメリットを生かすため、全体像を考える中央館の整備が必要です。</p>
<p>③ 地域図書館</p> <p>図書館サービスを提供する拠点施設として、上田、丸子・武石、真田地域に地域図書館を設置します。</p>	<p>上田図書館、上田情報ライブラリー、丸子金子図書館に加え、真田図書館を新設、また、丸子図書館(名称変更)の移転改築を行いました。</p>
<p>④ 図書館分室(図書室)</p> <p>地域図書館への交通利便、図書館需要が見込まれる地域に図書館分室(図書室)設置します。当面、上田図書館創造館分室、(仮)武石図書室を設置します。</p>	<p>上田図書館創造館分室は、以前から図書館分室として設置しています。武石地域では武石公民館図書室として運営しています。</p>
<p>⑤ 公民館図書室等</p> <p>真田公民館図書室は真田図書館へ、武石公民館図書室は武石図書室に図書館資産を引き継ぎます。</p>	<p>真田公民館図書室は真田図書館へ図書館資産を引き継ぎました。武石公民館図書室蔵書は、平成21年のエコール加入により公共図書館蔵書として広く利用されています。</p>

第一次構想	成果と今後の課題
<p>⑥ サービスポイント<sup>※3</sup></p> <p>公民館など公共施設を利用してエコール端末を設置し、図書貸出のサービスを行うポイントを順次整備します。</p>	<p>塩田公民館、長野大学附属図書館がエコール端末を設置し、サービスを行っています。</p>
<p>⑦ 書庫(閉架式書庫)</p> <p>貴重資料保存のため、温度、湿度管理できる書庫の整備を検討します。現在ある3館の収容力は限界であり、今後整備する図書館の書庫に余裕を持たせ、閉架資料の収容力アップを検討します。</p>	<p>上田図書館及び上田情報ライブラリーの書庫は貴重資料の保存が難しい状態になっています。新たに整備した図書館の書庫も余裕はなく、図書館全体の整備計画の立案と実施が急務となっています。</p>
<p>⑧ 更なるサービス提供を目指して</p> <p>エコールの機能強化を検討し、いっそうの活用を図ります。小中学校の学習環境構築のためエコール端末未設置校の早期導入し、読書活動、調べ学習をいっそう活性化に努めます。</p> <p>移動図書館車の有効なサービス提供のため、巡回ポイントやコース見直しを図るとともに、読書活動の普及と促進のため出前的活用を検討します。</p>	<p>上田地域広域連合(以下「広域連合」という。)や参加市町村と協力してエコールの機能強化を図っています。また、学校図書館においては、依田窪南部中学校を除く全ての小中学校で「学校エコール」の端末が設置されました。</p> <p>移動図書館車の巡回ポイントなどについて定期的な見直しを行っています。今後、イベント等への移動図書館車の活用を検討する必要があります。</p>

## 2 図書館サービス提供計画

第一次構想	成果と今後の課題
<p>① 各図書館施設の提供するサービス</p> <p>中央館的図書館、地域図書館等が提供すべき基本的なサービスや対象者別のサービスについて、検討していきます。</p>	<p>上田市の図書館としての共通のサービス目標や基準を持つに至っていません。中央館としての上田図書館の機能を早期に確立し、均一のサービスや各館の特性を応じたサービスを提供できるよう組織を整備する必要があります。</p>

※3 サービスポイント:利用者が図書館以外で図書館サービスを受ける場。主に本の返却と受取をする場所

第一次構想	成果と今後の課題
<p>② 各図書館施設の資料収集・収蔵</p> <p>原則として全ての資料を収集しますが、各図書館の特色に応じ、専門資料の収集、地域固有の資料は特定の図書館への集約を図っていきます。</p>	<p>各図書館で特色のある資料や地域資料の収集に努めています。今後、上田市の図書館としての収集方針を整備する必要があります。</p>
<p>③ 内部管理業務</p> <p>一部事業を除いては、中央図書館的機能を持つ上田図書館が基本的に行い、図書の選書や受入業務についても選定会議を開催し各館の担当者の意見も聞きながら行います。ボランティアの受入、学校図書館との連携、支援などは各図書館が行っていきます。</p>	<p>上田図書館の中央図書館的機能は、調整面にとどまっており、早期に効果的かつ効率的な業務を推進するための取組が必要です。</p>

### 3 これからの図書館の運営

第一次構想	成果と今後の課題
<p>① 運営のあり方</p> <p>図書館は長期的展望に立った知的財産の形成を進めていくことができる方法でなければなりません。運営は基本的には設置者が直接運営します。</p> <p>また、指定管理者制度の導入については、図書館の永続性や長期的展望に立った資料収集の確保などの留意点があり、上田市の図書館組織全体の連携のあり方も検討する必要があります。</p>	<p>図書館運営は、上田市が直接運営しています。民間への委託により効果的、効率的と考えられる一部の業務は外部へ委託をしています。また、各図書館とも活発な市民協働による活動を行っています。指定管理者制度については、視察等を行い研究を進めてきました。今後も、当市の図書館に適した運営形態について、引き続き検討する必要があります。</p>
<p>② 司書などの専門性の確保</p> <p>図書館職員には専門性とその館の資料の知識が求められることから、職員のレベルアップや専門性を継続的に確保できるものでなければなりません。</p>	<p>各種研修会に計画的に参加し、職員のレベルアップを図っています。また、実務担当者会議での意見交換などを活発に行っています。</p>

第一次構想	成果と今後の課題
<p>③ 利用者の立場に立った運営</p> <p>これからの図書館は、地域や市民の課題解決を支援し、情報発信拠点の位置付けのもとに運営を行う必要があります。</p> <p>また、生涯学習の拠点として、利用者、利用団体等に親しまれ、気軽に立ち寄り、利用しやすい環境を保つよう努めるとともに、利用者、利用団体等の学習活動の拡大に努めます。</p>	<p>地域社会や個人の課題解決型の利用は十分ではなく、より効果的な図書館活用を知り、図書館の機能をもっと使っていただくためのサポートや、地域の機関や団体に活動をサポートできる資料提供サービスにも努めていく必要があります。</p>
<p>④ レファレンス</p> <p>レファレンスに十分な対応をするため、職員研修等のスキルアップに重点をおける体制づくりと、図書館間の連携したレファレンス体制の構築を経済性に配慮し進めます。</p>	<p>各図書館でレファレンスを行っています。情報の共有化や関係機関との連携や商用データベースの活用等、効果的かつ効率的なレファレンス体制の構築を進める必要があります。</p>
<p>⑤ 選書及び除籍方針</p> <p>利用者の要求に応えられる蔵書管理の方針を作成し、公平性を示していきます。</p>	<p>図書館ごとに資料の選書、除籍を行っており、役割分担や利用者の要求に応えられる統一した方針、基準を作成する必要があります。</p>
<p>⑥ 市民の参画・協働による運営</p> <p>音訳図書づくり、本の読み聞かせ、配架、本の装備や修理など、積み重ねてきた活動により運営してきました。新たな面での市民の参画が可能な図書館づくりが求められます。当面は、地域ごとにボランティアを養成し組織化していきます。</p> <p>更に選書やサービス展開など運営の基本的部分への参画・協働を検討し、市民と図書館が理解を深めながら信頼関係を築き、役割分担を進めます。</p>	<p>第一次構想に沿って地域の特性を生かした市民協働を進め、地域の図書館を支える意識が育ってきています。自発的に図書館を支えようという市民の活動が継続していくためには、図書館におけるボランティア活動にかかわる人が公共図書館の役割を理解し、役割を共に担う姿勢が重要です。公共図書館の仕組みと情報収集などの機能を理解する人が増えることで、より永続的・発展的な協働が可能となってきます。</p>

## 第4章 構想の体系と基本的な考え方

### 1 基本理念

生涯学習基本構想では、基本方針の一つである「多様な学習機会の充実のために」の中の「地域の情報拠点としての図書館機能の充実」に基づき市民の生涯学習支援に向けて、第二次構想の基本理念を

**地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館**

とし、図書館運営の方向性を明らかにします。

### 2 基本目標

基本理念を実現するために、上田市の図書館の現状と課題を踏まえ、5つの「図書館づくりの基本目標」を定めます。これは、市民から信頼され、広く利用していただくための将来の図書館像です。

① 生涯学習の支援施設である図書館

② 図書館の施設整備と機能強化

③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館

④ 協働による地域とともにある図書館

⑤ 積極的なサービスを提供する図書館

### 3 構想の基本的な考え方

これからの図書館は、地域の情報拠点としての機能充実が求められています。利用者へのサービス拡充、蔵書資料の充実、利用施設やシステムの整備など、多様化した利用者ニーズに十分かつ柔軟に対応していくため、5つの基本目標に基づいた具体的な取組項目を明示します。

#### 基本目標① 生涯学習の支援施設である図書館

- 図書館は、教育機関であり、また生涯学習活動を支える地域の情報拠点であります。住民の読書活動や学習活動を支援するだけでなく、多種多様な情報提供により、市民生活や地域の課題解決やビジネス支援等による地域振興に役立つ機能も期待されています。
- 図書館を生涯学習の支援施設と位置づけ、自ら情報を得たい人がいつでも誰でも、気軽に、快適に利用できるようにします。そのためには、施設のユニバーサル化※4に努めつつ、多様な情報ニーズにきめ細かく対応しサービスの充実を図ります。
- 「上田市子ども読書活動推進計画」（平成25年度策定）に基づき、子どもの読書環境整備の推進と子どもにかかわる大人や各種団体への支援を行います。

#### 基本目標② 図書館の施設整備と機能強化

- 上田図書館は昭和45年に現在地に移転し、上田図書館創造館分室は平成11年に、上田情報ライブラリーは平成16年に開館しました。また、真田図書館は平成22年に、丸子図書館は平成24年に建築され、現在に至っています。
- 上田図書館は、郷土資料や花月文庫※5などの貴重資料の収集保管に努めていますが、老朽化や蔵書スペースの問題、バリアフリーへの対応など多くの課題を抱えています。図書館利用者の利便性の向上や図書館の社会的役割の実現など、新たな図書館基本構想によるさまざまな図書館サービスを提供するため、上田図書館の施設整備を検討します。
- 上田図書館創造館分室は、旧上田地域の千曲川左岸地域住民のための図書館施設として、地域図書館と同等の利用実績があります。広域連合の創造館図書室の一部を借りる施設形態になっており、広域連合と共同で運営しています。当面は広域連合と協議し図書室の充実に努めます。
- 武石地域住民のための図書施設としては、丸子図書館と武石公民館図書室があります。武石公民館図書室は、市内公民館の中で唯一エコールを活用した図書館サー

---

※4 施設のユニバーサル化:施設を文化・言語・国籍の違い、老若男女の差異、障がいや能力の如何を問わず利用することができるようにすること。

※5 花月文庫:昭和26年～28年に飯島花月(飯島保作氏)の収集した近世の庶民教育、川柳、文学などに関する図書を花月文庫として受け入れ、その後の受入も含め、現在約11,000冊所蔵

ビスを提供しています。現在、武石地域自治センターや武石公民館など周辺の公共施設を集約した武石地域総合センター整備計画が検討されており、図書室の整備についても今後検討が進められる予定です。

- 図書館が最大限機能を発揮できるよう、上田図書館を中央図書館として位置付け、根幹的な役割を果たすとともに、連絡・調整機能を集中させる必要があります。また、上田情報ライブラリー、丸子図書館、真田図書館のそれぞれの役割と機能を明確にするとともに、市内の図書館全体を一つの図書館と考え、効果的かつ効率的な図書館運営を行います。

### **基本目標③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館**

- 地域の歴史、文化、人物に関する郷土資料や昔の文化を知ることができる貴重資料は、市民の大切な財産です。特に、出版部数の少ない資料等は、意図的な収集を心がける必要があります。図書館の永続性を保つためにも、積極的な資料収集等に努めます。
- 郷土資料や貴重資料を廃棄したり、地域外に散在させることなく、地域全体で大切に保存し、活用することにより郷土愛が育まれます。
- 図書館は、資料の保存や活用だけでなく、資料を読み、内容や価値判断のできる人材を育成することが大事であり、そのことが地域づくりに役立つと考えられます。

### **基本目標④ 協働による地域とともにある図書館**

- 図書館は、利用者である市民が図書館の特性を知り、多種多様な資料から目的の情報源を選び出し比較検討する過程を知ることで、より活用することができます。図書館は膨大な資料を収集、整理、保存及び提供するために独自の分類システムを用いており、利用者が情報を活用するための基準になっています。
- 図書館は、地域を支える図書館、地域が支える図書館を目指して、これまでもボランティアの協力により、市民が図書館運営に参加し協働する地盤を築いてきました。今後は、現状のボランティア活動を一步前進できるような取組に努め、ボランティア活動を図書館を知る学びの場と位置づけ、地域とともにある図書館を目指します。
- さまざまな事業について、高校、短大、大学や専門学校等との協力により実施してきています。今後も、地域の中での学社連携を進め、連携校や事業の拡大に取り組めます。

## 基本目標⑤ 積極的なサービスを提供する図書館

- 利用者にとって必要とされる図書館であるためには、社会動向を常に把握し、幅広く「書籍、資料、情報等」の収集と保存、提供を図っていく必要があります。
- 図書館網を生かすために横の連携を深め、市全体の蔵書構成を意識した効率の良い資料収集に努めることで、豊かな資料提供と将来を見据えた資料保存につなげます。
- 限りがある書架を有効に活用するためにも、専門職による定期的な収集計画や除籍、保存方針の見直し及び研究を行い、適切な資料構成を維持していきます。
- 行政情報の提供施設として、庁内各部局や他の官公庁との連携強化により網羅的に行政情報を収集するよう努めます。
- 利用者ニーズが多様化・高度化する中、図書館の機能を強化するためには、学校、各種団体等の地域関連機関との連携が重要であり、お互いの組織が持つ強みを活かせる関係を構築します。
- 今後も、貸出サービスの更なる向上に努めるとともに、レファレンスを重要な図書館サービスと位置付け、その利用を促進するような体制と環境整備に努めます。
- エコールを活用し、身近なところで図書館サービスを受けられるポイントの整備を進めるとともに、移動図書館車の充実や活用により、積極的なサービス提供を目指します。

## 第5章 基本目標ごとの取組項目

基本理念…地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館

### 基本目標① 生涯学習の支援施設である図書館

- 取組項目1 課題解決のための情報提供
- 取組項目2 利用者ニーズの把握と活用
- 取組項目3 企画展示や講演会、講座等の開催
- 取組項目4 高齢者・障がい者サービスの充実
- 取組項目5 国際化に対応したサービスの提供
- 取組項目6 子ども読書活動推進計画の更なる推進
- 取組項目7 公共図書館と学校図書館との連携
- 取組項目8 図書館職員の資質向上

### 基本目標② 図書館の施設整備と機能強化

- 取組項目9 上田図書館の施設整備
- 取組項目10 上田図書館以外の施設整備
- 取組項目11 中央図書館機能の検討
- 取組項目12 地域図書館の役割の検討
- 取組項目13 各図書館のあり方の検討

### 基本目標③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館

- 取組項目14 視聴覚資料サービスの充実
- 取組項目15 地域・行政資料の積極的な収集、保存及び活用
- 取組項目16 貴重資料の収集、整理、保存及び活用
- 取組項目17 デジタルアーカイブの推進

### 基本目標④ 協働による地域とともにある図書館

- 取組項目18 市民協働の推進
- 取組項目19 高校、短大、大学、専門学校等との協働

### 基本目標⑤ 積極的なサービスを提供する図書館

- 取組項目20 図書館利用者の拡大
- 取組項目21 図書資料の収集、保存及び除籍
- 取組項目22 関係機関等との連携と情報提供
- 取組項目23 積極的な情報発信
- 取組項目24 レファレンスの充実と利用促進
- 取組項目25 データベースの利用促進
- 取組項目26 全図書館のICタグ化
- 取組項目27 電子サービスの調査及び研究

## 基本目標① 生涯学習の支援施設である図書館

### 取組項目 1 課題解決のための情報提供

現状 図書館では、市民等の課題解決を支援するため、蔵書やデータベースなどを活用し、信頼性の高い情報を基に情報提供しています。自館だけで情報収集が困難な場合、市内の他の図書館や県内外の公共図書館、国立国会図書館等への相談や資料貸出依頼により、情報提供をしています。

今後 起業・就職などのビジネス情報、子育てや高齢者に関する情報など、関係団体と連携を図り、課題解決のための情報提供や図書館活用、情報検索講座などを開催し、必要な情報を得るための支援を行います。

### 取組項目 2 利用者ニーズの把握と活用

現状 各図書館では意見箱の設置や窓口対応などで利用者個々のニーズの把握に努めていますが、図書館サービスや運営のあり方に対するニーズの把握には至っていません。

今後 多様化する図書館ニーズを把握し、利用拡大に向けた効果的な運営ができるように、図書館を利用する幅広い世代を対象にしたアンケートを実施し、データを分析、検討したうえで今後の図書館運営に生かします。

### 取組項目 3 企画展示や講演会、講座等の開催

現状 地域や時の話題に関する図書展示、読み聞かせ、文学などの文化講座や地域講座等、また、幅広い年代層を対象とした講座、講演会、催し物を開催しています。

今後 生涯を通じて豊かな生活を送ることができる社会の実現を目的として、情報提供としての講座等を引き続き企画、開催するとともに、展示内容や時期、方法の工夫をし、図書館を使いこなす方法など、図書館のさまざまな情報を発信していきます。

---

#### 取組項目 4 高齢者・障がい者サービスの充実

---

現状 高齢者や障がい者サービスとして、大活字本の<sup>だいかつじほん</sup>収集や拡大読書機を設置しています。また、録音図書※6の作製、貸出と、録音図書再生機器の貸出を行っています。

今後 録音図書の作製や対面朗読の実施など、サービス内容の充実や相互貸借の利用などにより利用者の要求に応じていきます。新たな高齢者・障がい者へのサービスの調査や図書館施設のバリアフリー化について、研究と検討を進めます。

---

#### 取組項目 5 国際化に対応したサービスの提供

---

現状 国際化に対応した外国語資料コーナーの設置と多言語の絵本収集と提供を行っています。

今後 外国語資料の利用状況や市内に在住するさまざまな外国籍の利用者のニーズに合わせ、計画的に資料を収集するとともに、案内パンフレット等の充実など積極的に情報を発信し、有効活用を図ります。

---

#### 取組項目 6 子ども読書活動推進計画の更なる推進

---

現状 すべての子どもがさまざまな場所や機会をとらえ、自主的に読書活動ができるような環境整備を図るため、「上田市子ども読書活動推進計画【資料2】」を策定しました。家庭や地域、学校・学校図書館、幼稚園・保育園の取組はされていますが、進捗状況についての情報の交換や共有化がされていない現状です。

今後 各関係機関、関係団体等と同計画の進捗状況について情報交換を進めるとともに、関係する機関等との連携強化に努めていきます。子どもの読書環境の整備と充実を推進し、第二次上田市子ども読書活動推進計画につなげていきます。

---

※6 録音図書:視覚に障がいのある人々のために図書を朗読し、その音声を収録したテープなど

---

## 取組項目 7 公共図書館と学校図書館との連携

---

現状 公共図書館の資料を学校図書館が利用するだけにとどまっており、十分な連携がとれていないという課題があります。

今後 公共図書館と学校図書館がそれぞれの蔵書構成の特性を理解し合うことで、それぞれの存在意義と蔵書のすみ分けを図るとともに、情報交換などを通してお互いのニーズの把握に努め、効果的なサービスを目指していきます。

---

## 取組項目 8 図書館職員の資質向上

---

現状 司書資格を有する職員の配置により専門性の維持に努めています。また、内部研修の実施や県立図書館、図書館協会主催の研修会等に参加し、図書館職員全体のレベルアップを図っています。

今後 図書館の専門性は、継続することでその力が発揮されます。そのためには、個々の職員の資質向上と組織としての専門性の継承が欠かせません。そこで専門性の高い職員の確保、内部研修、外部で実施される図書館実務研修といった個の資質を高めていくとともに、図書館を担う専門職員集団としての役割を理解し、組織として長期的視野をもった職員体制を整備することで専門性の維持、向上を目指します。

## 基本目標② 図書館の施設整備と機能強化

---

### 取組項目 9 上田図書館の施設整備

---

現状 限られたスペースの中で図書資料の配置と保存、書架や閲覧席等の配置を工夫することにより利用者へサービスを提供しています。また、施設全体の老朽化が著しく、修繕等を繰り返しながら施設の維持に努めています。また、段差があり、エレベーターがないなど、バリアフリーへの対応が大きな課題となっています。

今後 図書館は、現時点での利用者サービスだけでなく、情報を保存することで生きた歴史を伝え、未来の利用者の学びを助ける機能があります。上田図書館は、全国に誇れる貴重資料を所蔵しています。今後、中央館としての機能を担う図書館として、開架部分のみならず、直接市民の目に触れない閉架書庫の充実を含めた施設全

体の整備が必要です。

---

#### 取組項目 10 上田図書館以外の施設整備

---

現状 上田図書館以外の各図書館(室)においても、増加する図書資料に対しての収蔵スペースの確保が共通の課題です。また、その他の施設整備についても利用者からはさまざまな意見、要望等が寄せられています。

今後 特に、上田図書館創造館分室と武石公民館図書室が課題となっています。施設整備に当たっては、利用者の意見、要望等をお聞きしながら関係機関等と協議していきます。

---

#### 取組項目 11 中央図書館機能の検討

---

現状 上田図書館が中央図書館的な役割を負うことを期待されながらも、人的課題などのため「中央図書館」としての役割や機能をはたしていません。

今後 上田図書館の役割や機能を検討したうえで、上田市の中央図書館として位置づけ、上田図書館の施設整備及び職員体制に反映させていきます。

---

#### 取組項目 12 地域図書館の役割の検討

---

現状 市内の各図書館は、地域図書館として独自に図書館運営をしていますが、市の図書館全体における各館の役割が明確ではありません。

今後 市内の図書館を中央図書館と地域図書館に区分けし、特色ある資料の収集や役割分担の明確化により、より効果的かつ効率的に運営していきます。

取組項目 13 各図書館のあり方の検討

□ 上田図書館

内容	現状	今後
施設	上田図書館は、老朽化が著しく、修繕を繰り返している状況です。また、施設が狭隘であり、エレベーターがないなど利用者に不便な部分が多くなっています。	バリアフリー化や、ゆとりあるスペースの確保、全体的に網羅した資料の収集、保存を受け持ち、今後も貴重資料などを保存し、生涯学習の支援や情報交換の拠点としていくためにも、施設整備の検討が必要です。
図書館サービス	蔵書の特徴は、「花月文庫」をはじめとする貴重資料、大正・昭和初期の資料、参考図書や郷土資料を収蔵し、職員が利用者への対応をしています。しかし、開架率は低く、閉架書庫にも貸出可能な一般図書が多くあります。	上田市の中央図書館として、また、エコーの取りまとめ館としての役割を果たす必要があります。蔵書の構築、地域資料及び行政資料の収集や幅広いサービスの提供に努めるとともに、施設整備により利用者のさまざまな要求に対応していきます。
運営など	さまざまなボランティアの力を借りて運営しており、また、ボランティアの養成講座等を行うなど、ボランティアの裾野を広げ、技術の向上を図っています。	適正な職員配置、職員の資質能力の向上を目指します。現在図書館で活動しているボランティア団体が、今後も引き続き協働して各種サービスを行うために、技術向上のための支援をしていきます。

□ 上田図書館創造館分室

内容	現状	今後
施設	千曲川左岸地区の市民への図書館サービスの向上のために開設し、現在は広域連合の上田創造館図書室と上田図書館創造館分室が併存する図書館となっています。	当面は、広域連合と役割分担や施設の拡充について協議を進め、利用者の利便性の向上を図っていきます。

内容	現状	今後
図書館サービス	蔵書数も目標数に達し、開架棚も満杯です。蔵書数や施設規模に比べ貸出数が多いが、開架スペースの拡大も困難で、図書館利用者へのサービスが十分ではありません。	開架図書の整理や効率的な受入や除籍により利用しやすい図書館にしていきます。また、創造館の特色である科学分野に関する資料収集にも努めていきます。
運営など	広域連合図書室と併存する形となっているため、広域連合と共同で運営しており、本の貸出、返却が主な業務となっています。	今後も、広域連合と協議しながら、上田創造館の利便性を生かした図書室の運営を行います。また、適正な職員数の確保により、レファレンスの充実を図っていきます。

#### □ 上田情報ライブラリー

内容	現状	今後
施設	開架書架が満杯の状況です。	資料の収納スペースについて検討していきます。
図書館サービス	通常の図書館業務のほかに、「暮らしとビジネス支援」及び「千曲川地域文化の創造と発信」を基本コンセプトとしたセミナーなどを数多く開催しています。更なるレファレンスの充実が望まれます。	利用者や地域に役立つ図書館として、職員の研修等を通じたレファレンスの充実に努めます。
運営など	駅前の役立つ図書館として、「人と情報を結び文化をつむぐ」図書館実現に向け、市民協働も含め多くの事業を展開しています。また、仕事帰りや学校帰りに利用できるよう閉館時間を平日は午後8時30分としています。諸証明の発行など図書館以外の業務が増え、図書館本来の業務に影響しています。	引き続き基本コンセプトに基づいた図書館運営に努めます。 市民協働については、多くの団体の意見を取り入れ、広く効果的な連携を図りながら事業展開を行います。

□ 丸子図書館

内容	現状	今後
施設	広い敷地に恵まれた平屋建ての建物で、館内はバリアフリーとなっており、ゆっくりとした書架スペースが特徴です。	図書館の改築に合わせて図書資料のICタグ※7化を行いました。関連システム機器の更新を計画的に進めます。
図書館サービス	幼児コーナー、郷土資料コーナーが充実しています。他に学習室、研修室、展示コーナー、ボランティア室、インターネットコーナーなど情報化に対応し、レファレンスも含め、図書館サービスの向上を図っています。	地域に役立つ図書館として図書館サービスの更なる向上を目指します。移動図書館車のサービスの提供を今後も進めていきます。
運営など	市民の学びを支える図書館、市民とともに歩む図書館として、郷土資料、闘病記、人権教育、レファレンスの充実を図っています。講座、集会事業など地域との連携も含めながら運営しています。市民協働(まるこライブラリーパートナー)を進めています。	寄贈された製糸産業時代の資料の整理や活用方法等について市民と協働連携も含め進めます。また、ボランティア団体の組織化を図っていきます。

□ 真田図書館

内容	現状	今後
施設	1階2階にそれぞれコミュニティスペースを設け、地域の交流の場、文化芸術活動の発表の場としても活用されています。	ICタグ関連システム機器導入から7年経過し、計画的更新を進めます。
図書館サービス	全図書資料のICタグ化により利用者の利便性が図られています。児童図書コーナーを広く取り、児童図書の充実を図っています。郷土史資料や貴重資料の収集保管に努めています。	特色ある資料収集(真田氏関係、スポーツ、自然科学、女性史など)を進めます。また、地域と文化活動を支える生涯学習支援施設として、コミュニティスペース等を活用し文化芸術作品の展示、文化活動の発表などを行っていきます。

※7 ICタグ:図書館における「ICタグ」とは図書資料に貼付されたICチップのこと。複数の図書資料を同時に読み取れ、貸出、返却、蔵書点検などの作業で効率化が図られる。

内容	現状	今後
運営など	図書館のコンセプトは「市民協働による図書館づくり」です。真田図書館サポーターの会会員が本の配架、修理、花壇の整備、講演会やイベントの開催などの活動に積極的に携わり、図書館運営が支えられています。	ボランティア養成講座などの開催により、サポーターの会の会員増、組織の充実、活性化に協力します。また、協働で実施している真田塾、コンサート、星空観望会、図書館まつりなどの内容を充実させ、図書館の利用促進に努めます。

【参考:資料3】

## 基本目標③ 地域資料及び貴重資料の収集、整理、保存及び情報提供ができる図書館

### 取組項目 14 視聴覚資料サービスの充実

現状 図書館で提供できる許可済の音源(CD)や映像媒体(ビデオ・DVD)の中から、利用者ニーズを考慮して専門職が選定して収集、保存しています。また、地域の文化と歴史に関するものは重点的に収集しています。

今後 地域の文化と歴史についての音源や映像の収集、図書館で実施した講座の映像を整理して提供します。同時に、社会の情報配信や視聴覚機器の動向に注目しつつ、これからの視聴覚資料サービスの方法について調査、研究を進めます。

### 取組項目 15 地域・行政資料の積極的な収集、保存及び活用

現状 地域資料や行政資料を収集、整理し、利用に供しています。

今後 市民の財産である地域資料や行政資料を広く収集し、適切な保存をするとともに、修理、整理、データ登録を行い、誰もが活用できるようにします。

---

## 取組項目 16 貴重資料の収集、整理、保存及び活用

---

現状 貴重資料を積極的に収集、整理し、提供するとともに、寄贈受入をしています。

今後 市民の財産である貴重資料を広く収集するとともに、修理、整理、データ登録を行い、適切に保存します。資料については、館内閲覧または貸出可能の区別を的確に実施して、広く活用できるようにします。

---

## 取組項目 17 デジタルアーカイブの推進

---

現状 上田図書館では貴重資料である「花月文庫」の目録、「御当代記」、「東山道信濃国略図」などのデジタル化を行い、WEB上に公開しています。

今後 貴重資料、地域資料、行政資料等の保存と利活用を図るため、デジタルアーカイブ※8に取り組みます。また、さまざまな理由で図書館に来ることが困難な方や研究者等が容易に資料を利活用できるよう、デジタル化したデータをWEB上で公開するなど積極的な情報提供をします。更に、美術館、博物館などの施設の枠組みを超えた資料のデジタル化やネットワーク上での統合的提供の連携、協力も進めていきます。

## 基本目標④ 協働による地域とともにある図書館

---

## 取組項目 18 市民協働の推進

---

現状 図書館は、ボランティアの方々の活動によって、より幅の広い運営がなされています。しかし、地域によってそのかかわり方や取組には違いがあり、メンバーの高齢化、固定化などといった課題もあります。

今後 市民に広くボランティア活動の参加呼びかけやボランティア養成講座を実施し、市民と図書館との協働を進め、それぞれの役割分担を確認しながら図書館運営を進めます。また、公民館と連携しながら、主に役立つ資料や情報の提供を通して、市民主体の協働によるまちづくり活動を支援してまいります。

---

※8 デジタルアーカイブ：博物館、図書館等の収蔵品を始め、有形、無形の文化資源等をデジタル化して保存等(アーカイブ)をすること。

---

## 取組項目 19 高校、短大、大学、専門学校等との協働

---

現状 上田市と信州大学、長野大学、上田女子短期大学、長野県工科短期大学校(以下「市内4大学」という。)との連携のもと、現在は主に上田女子短期大学と連携し、図書館主催行事の企画運営をしています。

今後 上田市と市内4大学間で各分野での相互協力及び地域と大学の発展と人材育成を目的に包括的な連携に関する協定が結ばれている中で、大学との協働による魅力ある図書館づくりに取り組みます。

## 基本目標⑤ 積極的なサービスを提供する図書館

---

## 取組項目 20 図書館利用者の拡大

---

現状 図書館を利用している市民は、人口の約11パーセントです。市では、公共図書館、武石公民館図書室のほか、利用者の利便性の向上を図るため、塩田公民館と長野大学附属図書館を、本の貸出や予約ができる施設(サービスポイント)としています。その他、定期的な移動図書館車の運行を行っています。

今後 公共図書館の存在意義や利用方法などの情報を積極的に発信し、市民が気軽に利用でき、課題解決支援など役に立つ図書館を目指します。また、身近で図書館を利用できるサービスポイントの増設を検討するとともに、移動図書館車など既存の設備等の有効活用を図り、図書館事業の積極的な展開を図ります。

---

## 取組項目 21 図書資料の収集、保存及び除籍

---

現状 各館独自の収集、除籍方針等により資料の収集と除籍をしています。これ以外の基準や取扱いについては、エコールの館長会議、実務担当者会議、市内図書館館長次長会議によりその都度決定しています。また、特定の雑誌等については、県内の公共図書館が分担して収集、保存をしています。

今後 一定の基準に基づき、専門職を中心に収集と保存を図ります。最適な蔵書構成を維持し、計画的な資料収集と保存を図るため、図書館共通の収集、除籍方針等を

定めます。また、定期的に基準の見直しを図り、利用者ニーズや地域の特性、社会動向を敏感に読み取り、市やエコール全体での効率的な蔵書方法についても検討します。

---

## 取組項目 22 関係機関等との連携と情報提供

---

現状 庁内各部局と連携し、各部局が発行する行政資料の収集と保存をしています。また、官公庁、大学、専門学校、各種団体などと連携した企画展示や講演会、講座等を実施しています。各部局が発信する行政情報、イベント情報、観光情報など積極的に掲示しています。

今後 各部局が発行する行政資料を網羅的に収集、保存するなど、行政情報の更なる充実に努めます。また、市役所の業務の参考となる資料情報などを積極的に発信します。更に、市役所内外の部局や機関、団体と連携した企画展示や講演会、講座等のイベントを継続実施し、情報交流や連携を深めることにより、広範囲な図書館サービスの展開に生かします。

---

## 取組項目 23 積極的な情報発信

---

現状 市の広報紙、図書館やエコールのホームページ及び地域のさまざまなメディアを活用し、図書館の最新情報だけでなく、既存のサービスの利便性などをより魅力的にわかりやすく発信しています。

今後 図書館やエコールのホームページの掲載方法の工夫や、他のメディアの活用を検討するなど積極的に情報提供をしていきます。

---

## 取組項目 24 レファレンスの充実と利用促進

---

現状 現在は、インターネットから容易に情報収集することができますが、膨大な情報の中から取捨選択して信頼性が保証される情報を得ることは難しい状況にあります。図書館でのレファレンスは、一定程度の信頼性、安定性が保証されている情報を提供しています。

今後 信頼性が保証されている図書館でのレファレンスについて、積極的に情報発信していく必要があります。また、図書館システムの活用によるレファレンス事例の蓄積など機能の充実を図り、利用者の利便性向上に向けた取組が重要です。

---

## 取組項目 25 データベースの利用促進

---

現状 図書館向けのデータベースの利用により、新聞や雑誌の記事、法令・判例等を検索できるようにしています。

今後 図書館向けデータベース、また、国立国会図書館が保有するレファレンス事例などの情報が、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」検索できるような環境整備を目指します。

---

## 取組項目 26 全図書館のICタグ化

---

現状 合併後に新たに設置された丸子図書館、真田図書館はICタグ化していますが、上田図書館、上田情報ライブラリー、上田図書館創造館分室、武石公民館図書室は未着手です。

今後 順次ICタグ化を進め、自動貸出機、セキュリティゲートなどの周辺機器も整備し、利用者の利便性の向上と図書館運営の効率化を図ります。

---

## 取組項目 27 電子サービスの調査及び研究

---

現状 情報端末の普及に伴い、本の予約や予約本連絡メールサービスなど、図書館サービスの向上を目指してきました。市内図書館では公衆無線LAN<sup>※9</sup>や電子書籍<sup>※10</sup>の導入はしていません。

今後 タブレット端末<sup>※11</sup>、スマートフォンなど携帯端末の普及に伴い、公衆無線LAN導入や、それらを活用した図書館サービス提供の可能性について調査及び研究を進めます。また、電子書籍市場が急速に拡大していく可能性も考えられ、電子書籍の課題や効果について研究を進め、その対応について検討していきます。

---

※9 公衆無線LAN:無線LANを利用したインターネットへの接続を提供するサービス

※10 電子書籍:紙ベースの印刷物でなく、電磁的に記録された情報のうち、従来の書籍(雑誌含む。)を置き換える目的で作成されたコンテンツ

※11 タブレット端末:タッチパッド等のインターフェースを搭載した液晶ディスプレイを主な入出力インターフェースとする板状の可搬性が高いコンピュータの総称

## 第6章 今後の図書館のあり方

### 1 今後の図書館整備

#### (1) 現状

- 昭和45年建築の上田図書館は施設の老朽化、狭隘化<sup>きょうあい</sup>が進み、新しいサービスの展開が困難な状況になっています。
- 一方、高度情報化社会を迎え、図書館に求められる役割は多様化、専門化しています。
- こうした状況や労働時間の短縮や長寿化に伴う自由時間の増大など、図書館を取り巻く社会状況の変化を受けて、各図書館の果たすべき役割や機能を見直し、新しい時代にふさわしい内容を持った施設として整備することが重要な課題となっています。

#### (2) 上田図書館の施設整備の方向性

- 市内図書館は、第一次構想での計画以上に蔵書数が増加しています。なかでも上田図書館は、収蔵能力を超えているため除籍を多くして現状維持を保っています。
- 図書館の重要な役割の一つが、図書資料や郷土資料を収集し、後世に引き継ぐことです。市図書館全体としての保存方法、場所、計画的な収集や除籍等について十分検討していく必要があります。
- 中央図書館機能を有する上田図書館の整備に当たっては、市図書館全体での蔵書数について、今後50年(建物の耐用年数)という長期的視点に立ち検討することが必要です。
- 公共図書館で所蔵すべき蔵書数の基準としては、日本図書館協会の「図書館による町村ルネサンス Lプラン21」の数値基準(日本の図書館2003)があり、この基準の基となる数値を現在の数値に置き換えて試算した結果、市全体の図書館の達成すべき蔵書数は80万冊となります。
- この80万冊は、県内及び全国の市の蔵書数などからも適当な蔵書数と考えられます。80万冊を目標蔵書数として、文部科学省の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)」に基づく市民への提供すべきサービスの実現を図ります。また「上田市公共施設マネジメント基本方針(平成28年3月策定)」も踏まえ、他の施設との複合化なども視野に入れながら上田図書館の整備を検討していきます。
- 今後、市の保有する全ての公共施設について、定期的なメンテナンス計画を内容とした長寿命化計画を策定していくこととなったため、市内全ての図書館についても計画を策定していきます。

【参考:資料4】

## 2 今後の図書館運営

- 上田市の図書館は、基本理念である「地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館」に向けて図書館の役割を果たし、情報化や多様化する市民ニーズへの対応ができ、地域課題解決等への支援など、地域の役に立つ図書館を目指します。
- また、学校における教育課程の基準である学習指導要領が平成29年3月に公示され、その中で、これからの学校での学びのあり方が変わっていくことが示されています。これまでの学校での学びは、子どもが教師からの情報を一方向的に受け取る一斉授業を基本としていました。これからの学びは、子どもたちが仲間たちとの交流を通して自ら知識や技術をつかみ取る学び合いへとそのあり方を変えていきます。
- このように、「習う」ことを基本としていたこれまでの「学習者」が、自ら学びを修める「学修者」へと変わろうとするこれからの時代に、図書館には資料を保存して提供するというこれまでの機能に加えて、他者との交流を通して学び合うことを可能にする新たな学びの場としての機能が求められることとなります。
- 地域とともにある図書館として、新しい学びの場をいかに地域とともに構築していくのかについて検討するとともに、運営や機能、役割分担を明確化するなど、効果的で効率的な図書館の実現に向けて取り組みます。

### (1) 図書館運営形態

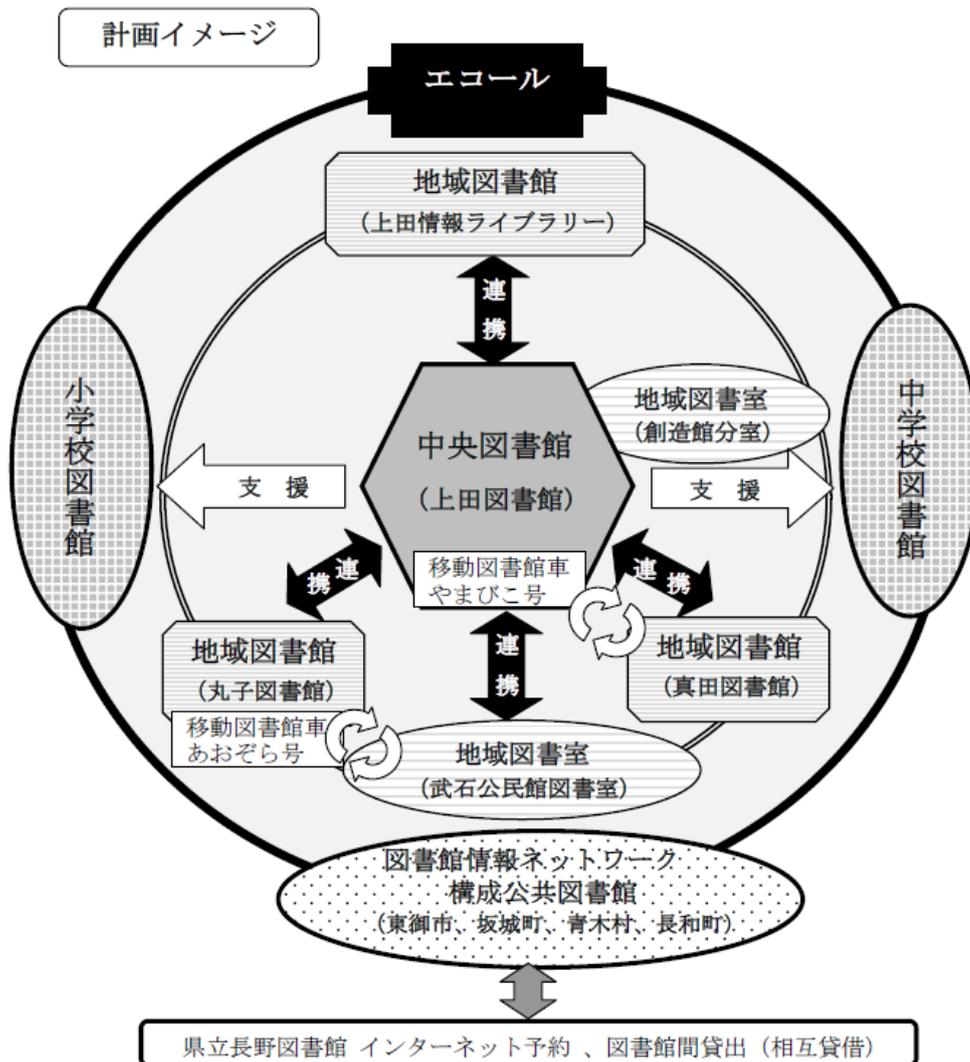
- 図書館の運営について、総合計画では、「施策の方向性・展開」の中で、「市民協働による新たな図書館運営を目指します」としています。
- 上田市の図書館は、各館での違いや特色はありますが、本の配架、修理、読み聞かせ、録音図書製作、地域資料のデジタル化、講座やコンサート等の開催、曝書※12への協力、環境美化など広範な業務において、個人ボランティアや市民団体、NPO法人等との市民協働がなされており、図書館と市民の新しい関係を築いています。これからも図書館の目指す方向と一体となった市民協働を進めていくことが重要です。
- 指定管理者制度等の導入については、将来にわたり保存すべき地域資料等の収集、図書館の無料の原則、利用者への平等・公平性の保持、社会情勢に即した情報の提供、生涯学習や地域課題等の解決の支援など教育機関である図書館に求められる役割や、近隣市町村と構成するエコールとの関係などにより課題が生じることが考えられます。
- 今後の運営形態については、更なる市民協働の推進を図りながら、当面は直営により運営しますが、時代のニーズや図書館を取り巻く状況を勘案しながら、指定管理者制度、一部業務の委託なども含め、当市の図書館に適した運営形態を検討していきます。

---

※12 曝書:年に一度実際の図書資料と蔵書データを突き合わせる事。蔵書点検ともいう。

## (2) 各図書館の機能の明確化、役割分担

- 図書館法の目的達成に向けて効果的かつ効率的な図書館業務を展開し、図書館サービスの向上に資するため、市内図書館の機能面での役割分担を行っていきます。  
具体的には、上田図書館に中央図書館としての機能を持たせ、各種方針や基準の策定、各年度の図書館全体としての事業計画策定、高度なレファレンス対応、特定の資料収集業務などを集中させるとともに各種調整業務を行うこととします。
- 選書は、各図書館の独自性や特色を生かしながら、市内図書館全体での選書会議によりバランスのとれた選書を行います。
- 上田情報ライブラリーは駅前図書館として駅前のにぎわいの創出、ビジネス支援などを目的とし、丸子図書館及び真田図書館は地域資料の収集、保存や地域の特性を生かした事業を推進する地域図書館として機能の明確化、役割分担をしていきます。  
また、上田図書館創造館分室と武石公民館図書室は、地域図書館的な役割を担っており、更なる図書館サービスの向上につながるよう検討します。



### (3) 図書館職員

- 公共図書館を取り巻く状況は、急激な情報化の進展や厳しさを増す社会経済情勢の中で市民ニーズが多様化、複雑化してきています。図書館は、現状の図書館サービスに加え、最新情報の収集と蓄積、また、今後の新たな学習スタイルやニーズなどへ対応していくとともに、図書館職員は、図書館の置かれた厳しい状況を認識し、職員個々が意識改革を行う必要があります。
- これからの図書館には、図書館の永続性を維持しつつ、課題に対応できるスキルを身につけ、第二次構想の基本理念である「地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館」を目指して取り組みのできる人材が必要です。
- 図書館では、県立図書館や県図書館協会などの研修会への職員の参加、エコールでの専門的研修の企画、開催、実務担当者による課題の研究などに努め、専門性の高い職員を育成します。また、職員個々が積極的に新しい情報の収集、自らの知識や能力の向上に努め、図書館サービスに生かせるよう取り組みます。
- 図書館サービスの向上を図るためには、市内図書館全体が一つの組織としてレベルアップする必要があります。そのためには、職員個々の能力を十分発揮できる職員体制の整備が重要です。今後、市内図書館は、中央図書館を核として連携を強化し、職員全員が情報共有を図り、職員が安心して自らのスキルアップに取り組むとともに、図書館サービスを提供できる職員体制の検討を進めます。

## 第7章 構想の推進に当たって

### 1 図書館行政のいっそうの推進

- 市図書館は、知識基盤社会※13における知識、情報の重要性を踏まえて、市民及び利用者に適切な資料や情報を提供することができるよう努めるとともに、読書活動の推進を担う機関として、また、地域の情報拠点として市民及び利用者のニーズに応え、地域の実情に即した運営に努めます。
- 高度化、多様化する利用者及び市民の要望に対応し、主体的、対話的な学びを支援する機能の充実を図るために、情報検索ができる条件整備や利用者、地域が抱える課題解決に対して支援できるよう司書のレファレンス能力の向上、講座等開催による学習機会の提供などに取り組みます。
- 図書館相互利用のみならず学校図書館との連携を積極的に進めるほか、社会教育施設や各種行政機関、地域の関係機関等との協力をいっそう推進します。
- 今後10年間の本市図書館の基本的運営方針として策定した第二次構想を踏まえ、図書館サービス及び図書館の運営に関する事業計画を年度ごとに策定し、図書館行政の計画的な推進を図ります。

### 2 計画の進捗管理、評価

- 第二次構想は、総合計画及び生涯学習基本構想と整合性を図りつつ、子ども読書活動推進計画もあわせて推進します。
- 本市図書館は、各年度の図書館サービス、図書館の運営状況について自ら適切に点検を行うとともに、第二次構想の進捗状況について図書館協議会を活用した「関係者、第三者評価」を行い、効果的かつ着実に推進していきます。

---

※13 知識基盤社会：平成17年の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」で示された言葉で、新しい知識、情報、技術が政治、経済、文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会

## 参 考 资 料



## 上田市図書館利用者アンケート調査

上田市図書館では、第二次上田市図書館基本構想の策定を計画しており、その参考とするために、来館者に対しアンケート調査を実施しました。

- 調査期間 平成28年6月中旬～7月中旬（1ヶ月間。各図書館により調査開始日が異なる。）
- 館別回収数 ◆上田図書館：859、◆上田図書館創造館分室：201、◆上田情報ライブラリー：76、◆丸子図書館：463、◆真田図書館 92、◆計 1,691

## 【以下アンケート内容】

ご来館の皆様へ

本日は当図書館をご利用いただき、ありがとうございます。今後の図書館運営に役立てるため利用者アンケート調査を実施することになりました。お忙しい中たいへん恐縮ですが、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。なお、本調査は無記名で、かつ調査結果はすべて統計的に処理いたします。

平成28年6月・7月 図書館長

## 問1 性別、年齢、住所、職業について 【あてはまる項目に☑か( )内に記入】

性別 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
年齢 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 10歳未満 <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
住所 (該当欄に)	上田市の方⇒自治会名又は郵便番号( ) 上田市以外の方⇒市町村名( )
職業など (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自由業・自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦(夫) <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他( )

## 問2 図書館の利用について 【あてはまる項目に☑】

当図書館の利用頻度 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週3回以上 <input type="checkbox"/> 週1～2回 <input type="checkbox"/> 月数回 <input type="checkbox"/> 年数回 <input type="checkbox"/> はじめて
当図書館を利用する曜日 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土・日・祝日 <input type="checkbox"/> 曜日関わらず
当図書館の利用する時間帯 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input type="checkbox"/> 夕方～夜間 <input type="checkbox"/> ほぼ一日
市内他の図書館の利用状況 (ここ1ヶ月間の利用館。複数☑可)	<input type="checkbox"/> 上田図書館 <input type="checkbox"/> 創造館図書室 <input type="checkbox"/> 情報ライブラリー <input type="checkbox"/> 丸子図書館 <input type="checkbox"/> 真田図書館
図書館の利用目的 (複数☑可)	<input type="checkbox"/> 本・雑誌・CD等の貸出・返却 <input type="checkbox"/> 本・雑誌・新聞・CD等の閲覧 <input type="checkbox"/> 館内資料で調査・研究 <input type="checkbox"/> 講座や催し物に参加 <input type="checkbox"/> 本や調べものの相談、 <input type="checkbox"/> 子どもの読書のため <input type="checkbox"/> 自習 <input type="checkbox"/> インターネットやデータベースの利用 <input type="checkbox"/> 余暇を過ごす <input type="checkbox"/> その他( )

## 問3 当図書館の開館日数、開館・閉館時間について 【あてはまる項目に☑】

当図書館の開館日数 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 今まで通りで良い <input type="checkbox"/> 不便を感じている <input type="checkbox"/> その他( )
当図書館の開館時間 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 今まで通りでよい <input type="checkbox"/> 平日の開館を早く <input type="checkbox"/> 土日祝日の開館を早く <input type="checkbox"/> その他( )
当図書館の閉館時間 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 今まで通りでよい <input type="checkbox"/> 平日の閉館を遅く <input type="checkbox"/> 土日祝日の閉館を遅く <input type="checkbox"/> その他( )

## 問4 図書館職員について 【あてはまる項目に☑】

カウンターでの対応 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> やや満足 <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 分からない
質問に対する案内・説明の分かりやすさ (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> やや満足 <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 分からないことがない
本の知識について (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> やや満足 <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 分からない

問5 図書館の資料・サービスについて 【あてはまる項目に☑】

今後、力を入れて欲しい取り組み (3つ以内)	<input type="checkbox"/> 図書資料の充実(充実して欲しい分野 ) <input type="checkbox"/> 図書館の広報などPR活動の充実(具体的な方法 ) <input type="checkbox"/> 施設・設備の充実 <input type="checkbox"/> 探している本を見つけやすい配置 <input type="checkbox"/> 本のリクエスト・予約サービスの充実 <input type="checkbox"/> 本・雑誌・CDなどの貸出制限数の増 <input type="checkbox"/> おはなし会や行事・講座などの充実 <input type="checkbox"/> 調査・相談サービスの充実 <input type="checkbox"/> 商用データベースサービスの充実 <input type="checkbox"/> テーマ展示やおすすめ本の紹介 <input type="checkbox"/> 職員の応接態度の向上 <input type="checkbox"/> 読書相談 <input type="checkbox"/> 市民協働(ボランティア等)による図書館運営 <input type="checkbox"/> 学習スペースの提供 <input type="checkbox"/> 生涯学習団体利用スペースの提供 <input type="checkbox"/> 情報交流(談話)スペースの提供 <input type="checkbox"/> その他( )
上田地域図書館情報ネットワーク(エコール)について (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 知っている <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> 分からない ※ エコールとは : 上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町の5市町村の公共図書館(室)のほか、塩田公民館などネットワークで結ばれているところでは、1枚の利用者カードで図書の予約・貸出・返却がどこでもできます。
調査・相談サービスについて (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> いつも役に立っている <input type="checkbox"/> ときどき役に立っている <input type="checkbox"/> あまり役に立っていない <input type="checkbox"/> 分からない・したことがない
各種図書館サービスや講座、催し物などは、自分や地域の役に立っていますか(☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 役に立っている <input type="checkbox"/> 役に立っていない <input type="checkbox"/> 分からない・参加したことがない
インターネットによる蔵書検索や予約 (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> よく利用する <input type="checkbox"/> ときどき利用する <input type="checkbox"/> 利用しない <input type="checkbox"/> 利用のしかたが分からない
館内の案内表示は分かりやすいですか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> わかりやすい <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> 分からない <input type="checkbox"/> 分かりづらい(どこが→ )
図書館では様々なボランティアが活躍しています。ボランティアをするならどんな活動をしたいですか(複数☑可)	<input type="checkbox"/> 本の修理 <input type="checkbox"/> 書架整理・配架(返却された本を棚にもどす) <input type="checkbox"/> おはなし会など児童向け行事 <input type="checkbox"/> 大人向け行事 <input type="checkbox"/> 障がい者への援助(対面朗読・録音図書の作成等) <input type="checkbox"/> 環境整備(花壇の手入れなど) <input type="checkbox"/> できない・したくない <input type="checkbox"/> その他( )

問6 読書習慣について 【あてはまる項目に☑】

最近1ヶ月間の読書量(購入含む) (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 0冊 <input type="checkbox"/> 1~5冊 <input type="checkbox"/> 6~10冊 <input type="checkbox"/> 11~20冊 <input type="checkbox"/> 21冊以上
ご自身の電子書籍利用について (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 利用している <input type="checkbox"/> 利用していない <input type="checkbox"/> 分からない・利用したことがない
子どもの読書習慣を育むには (複数☑可)	<input type="checkbox"/> 家庭での読書の習慣 <input type="checkbox"/> 身近な大人の働きかけ <input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園での働きかけ <input type="checkbox"/> 小学校・中学校での働きかけ <input type="checkbox"/> 学校図書館の充実 <input type="checkbox"/> 市立図書館の充実 <input type="checkbox"/> その他( )

問7 総合的な満足度 【あてはまる項目に☑】

総合的に、当図書館にどのくらい満足していますか (☑は1つ)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> おおむね満足 <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 分からない
--------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

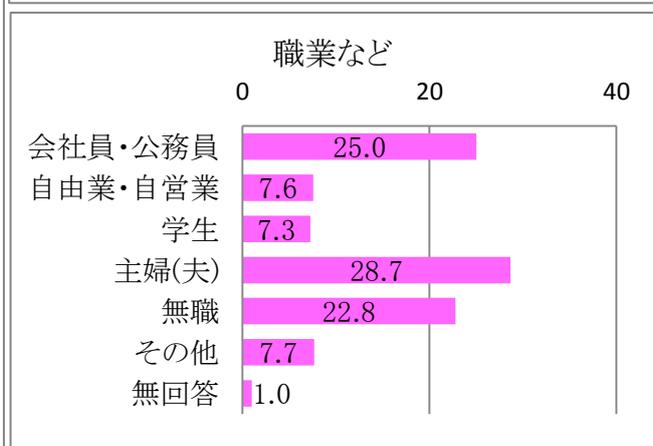
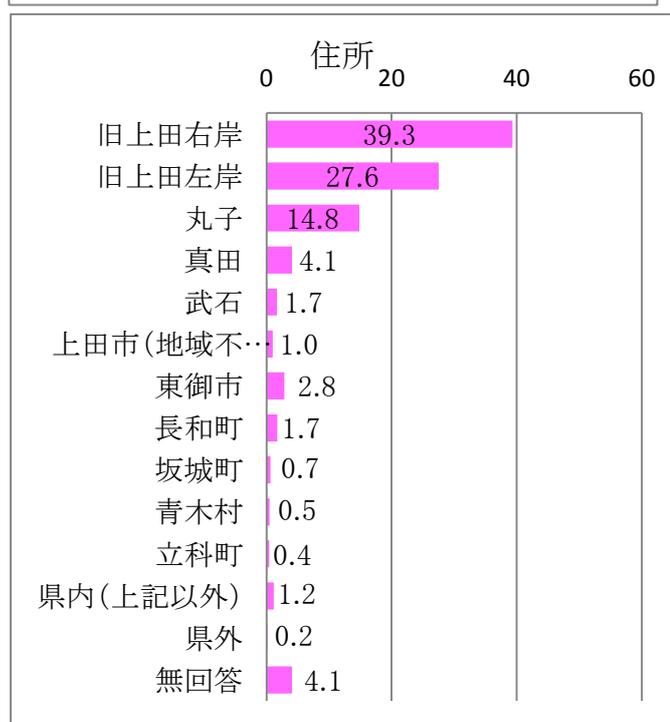
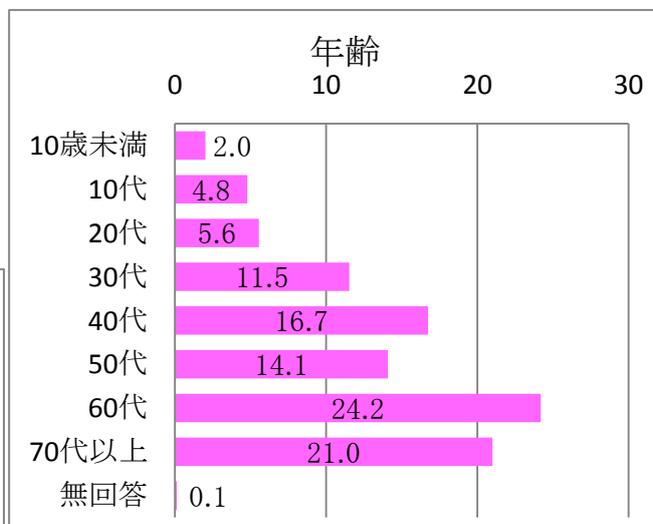
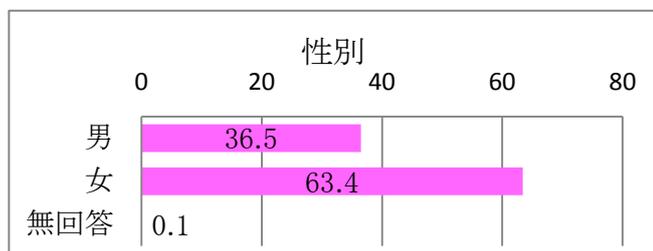
問8 その他、図書館(他館含)へのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。回収箱に入れてください。

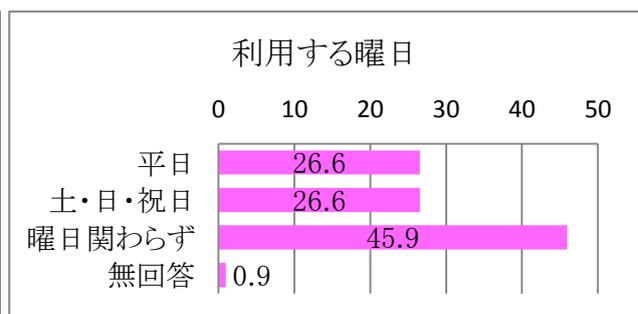
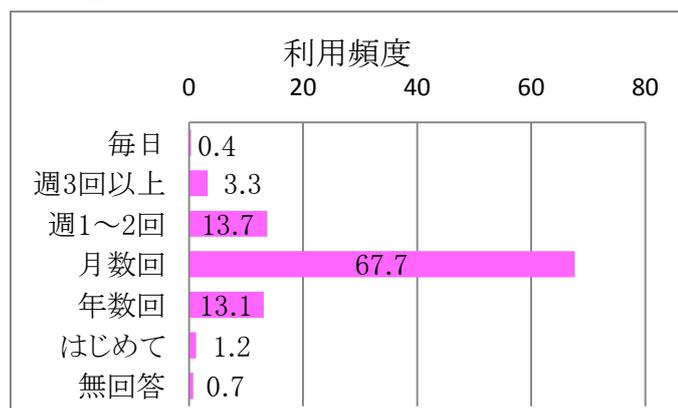
## ※アンケート調査結果集計

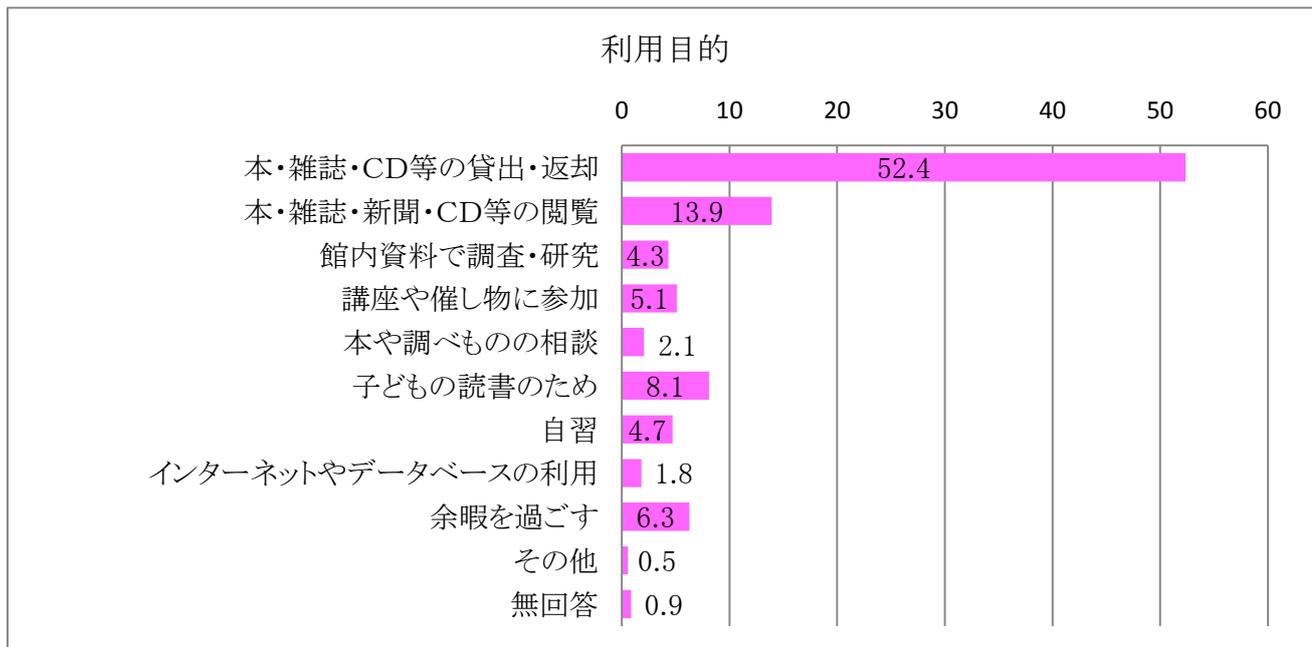
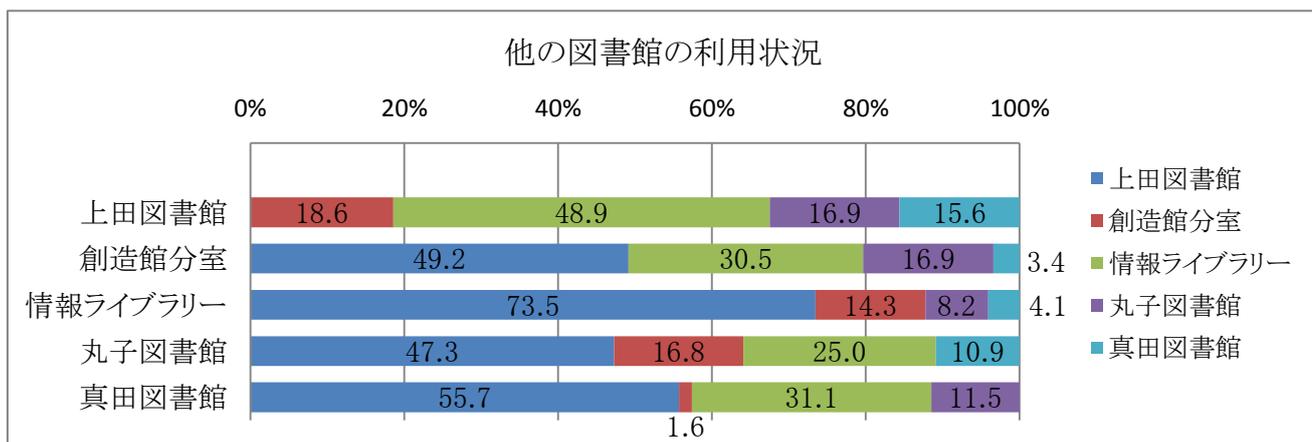
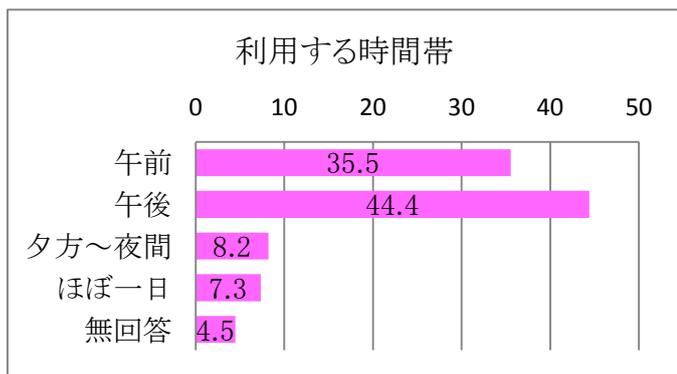
[全図書館集計後の割合]  
(横軸の目盛はパーセント)

### 問1 性別、年齢、住所、職業について

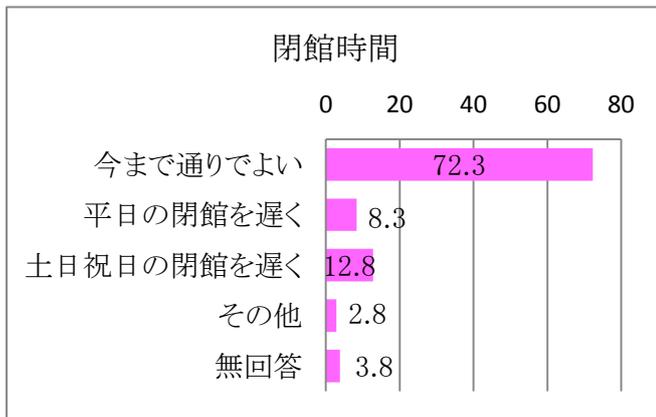
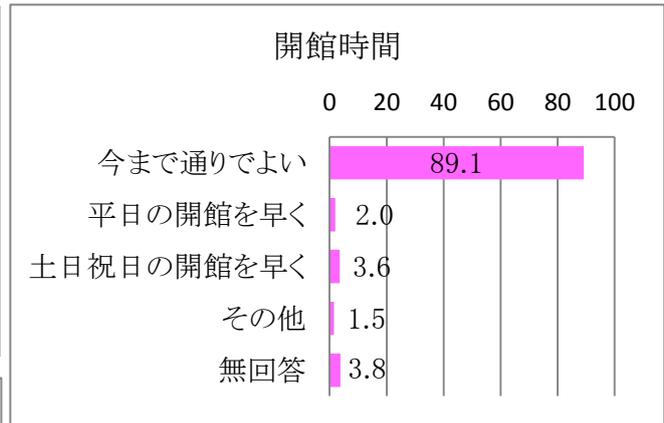
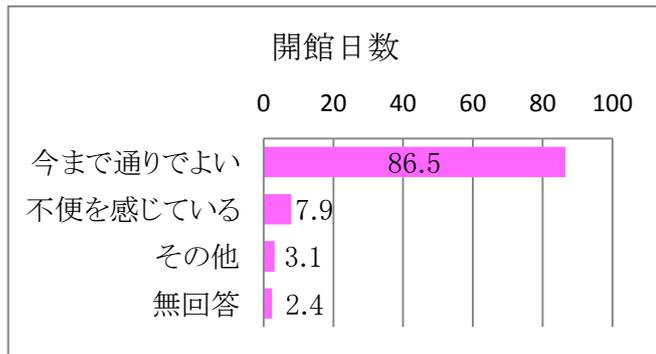


### 問2 図書館の利用について

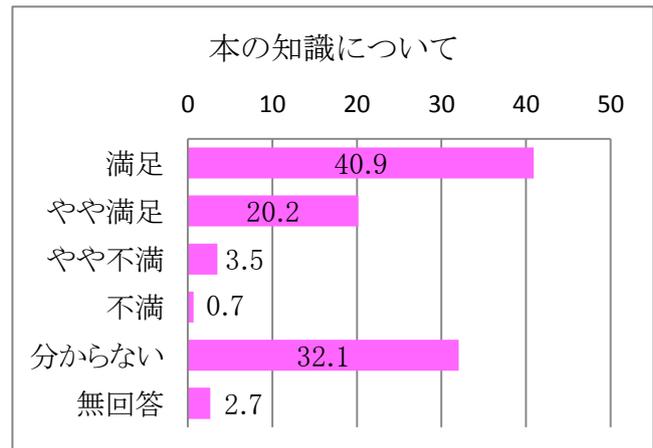
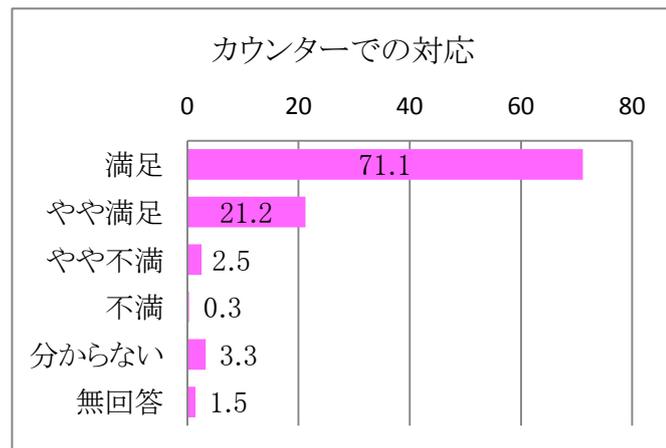




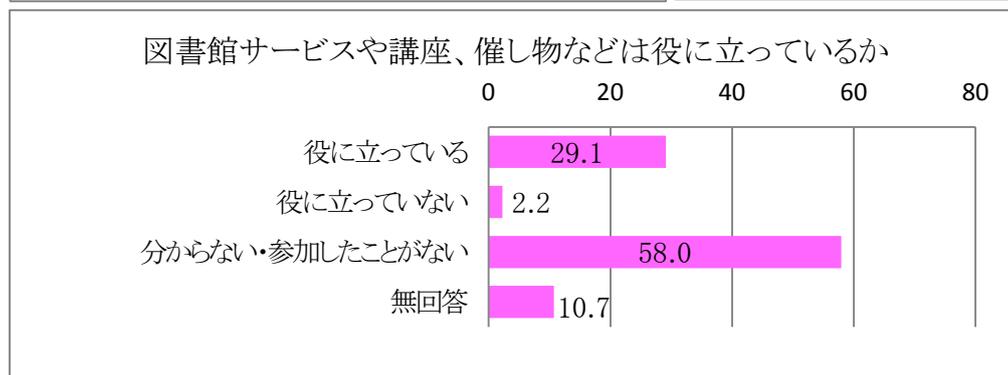
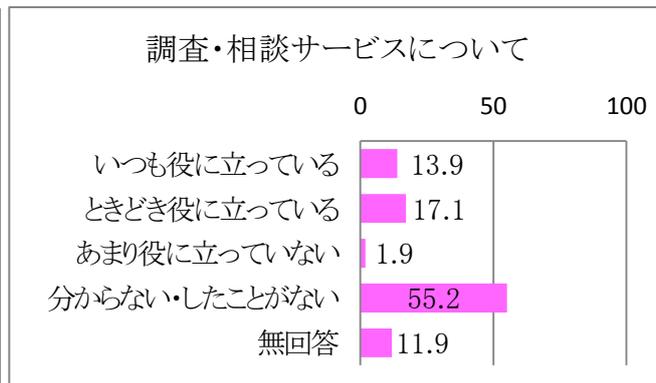
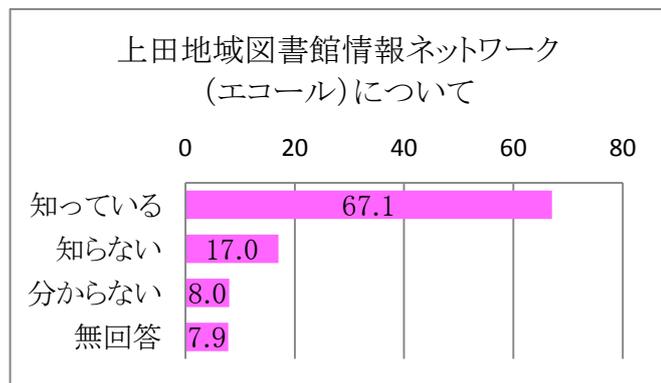
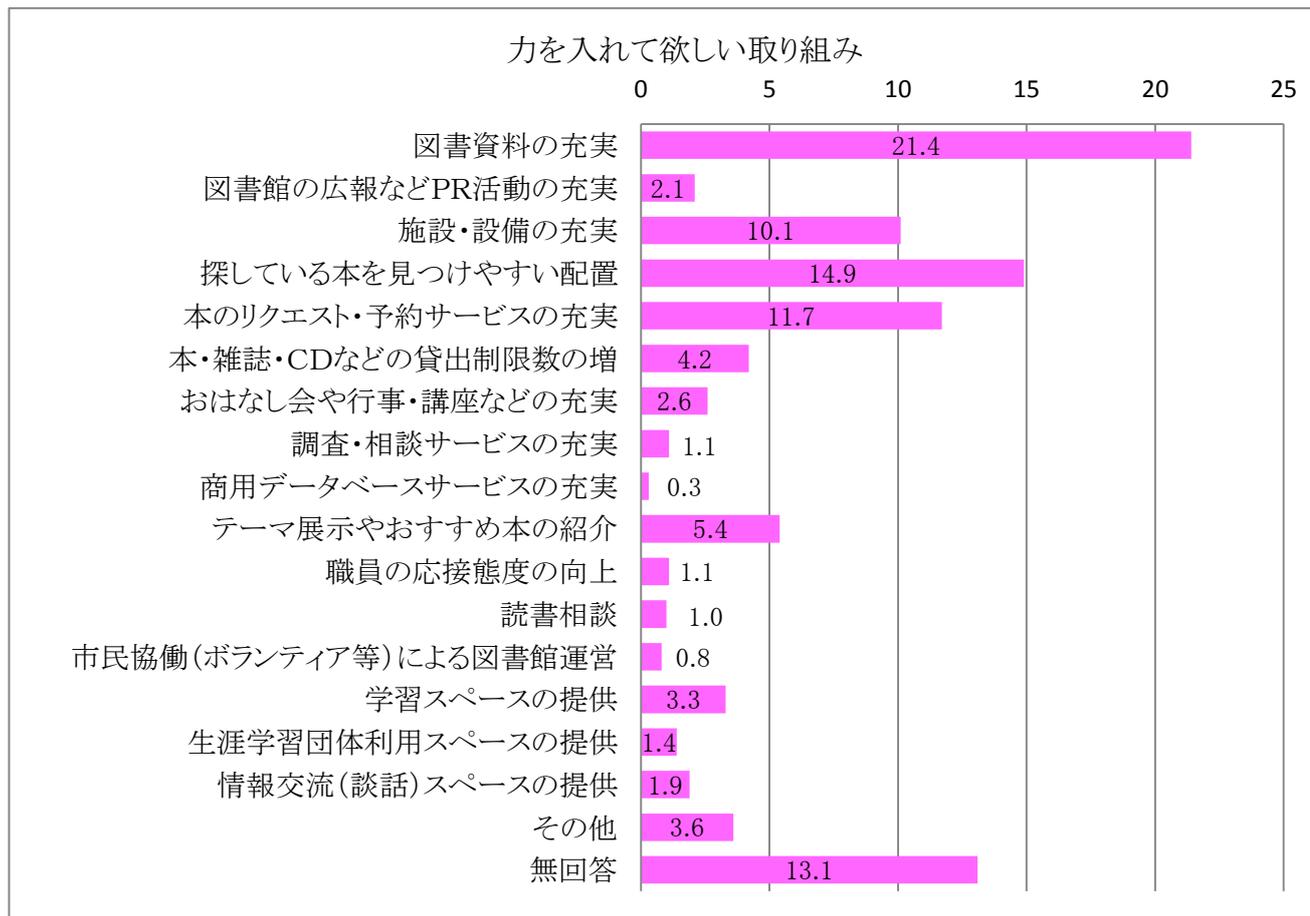
問3 当図書館の開館日数、開館・閉館時間について

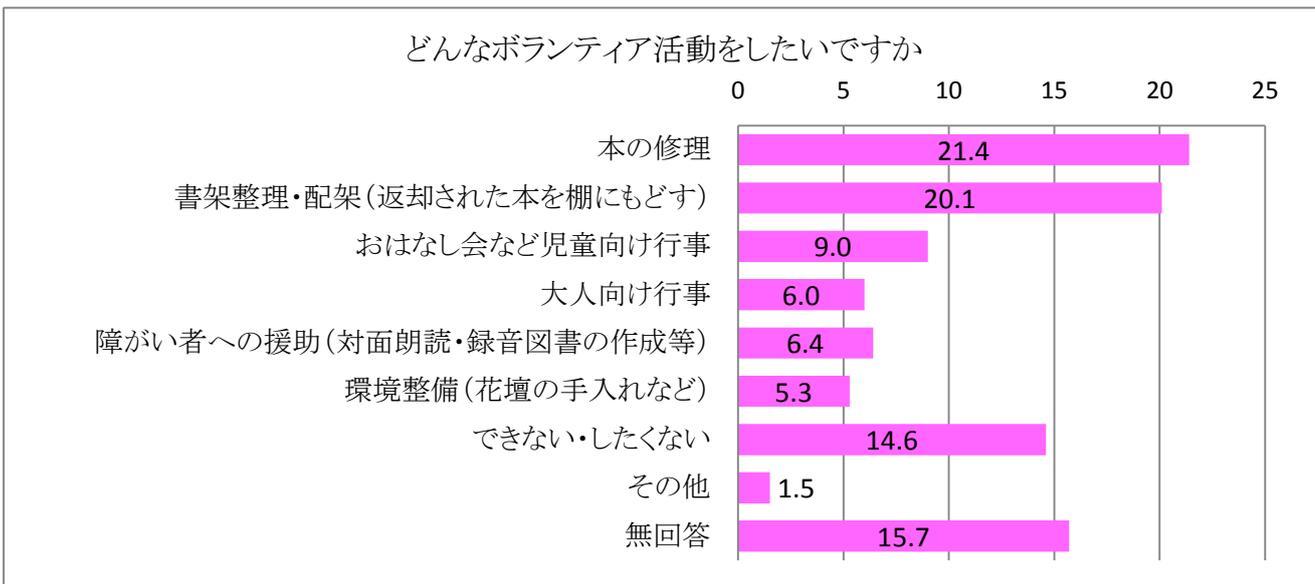
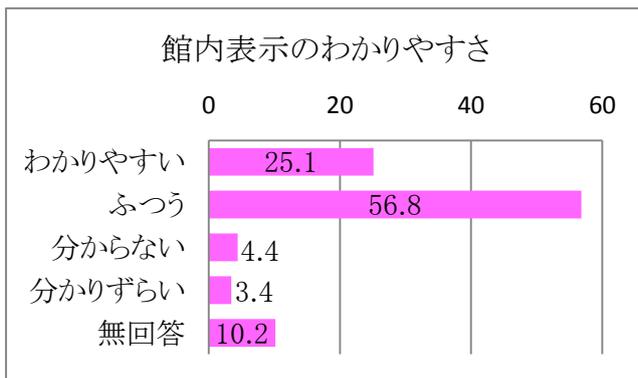
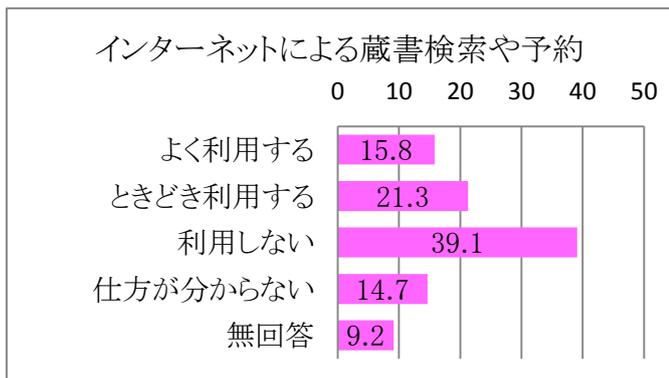


問4 図書館職員について

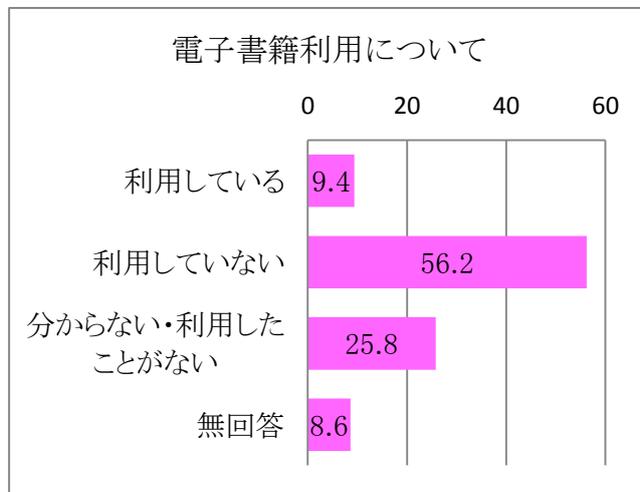
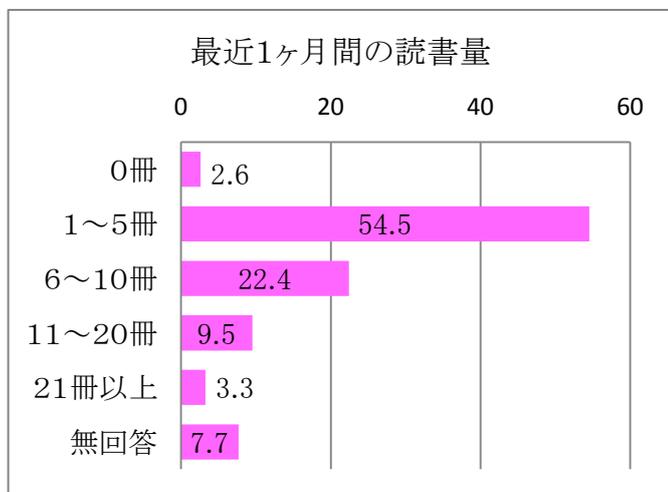


問5 図書館の資料・サービスについて

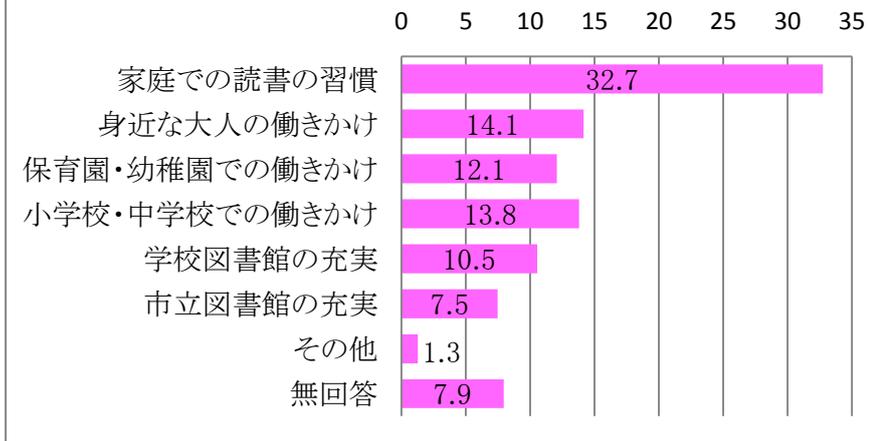




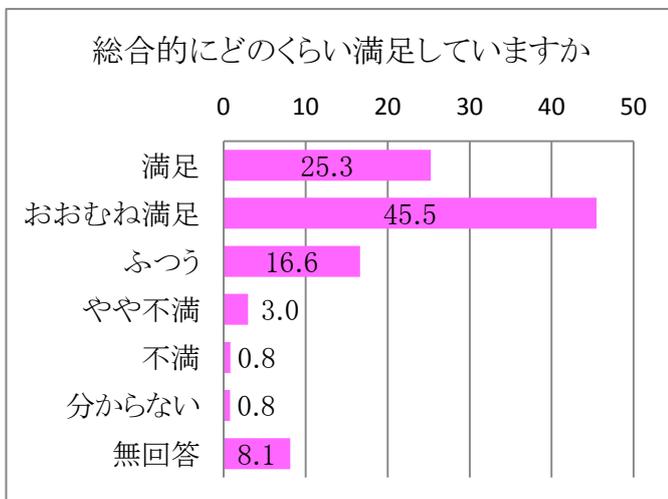
## 問6 読書習慣について



子どもの読書習慣を育むには



問7 総合的な満足度



## 上田市子ども読書活動推進計画の体系

子ども読書活動の推進にむけて  
 わたくしたちは、子どもたちが本を通じて読書の楽しさを知り、読書体験を深める中で、  
 人生をより深く生きる力を身につけてほしいと願っています。

「親しむ！」・「広げる！」・「深める！」

施策	取組項目
1 家庭や地域での取組	1 家庭における読書環境の啓発
	2 読書の重要性を深めるための講座・講演会の開催
	3 読み聞かせグループの活動支援
	4 家庭の日の推進
2 図書館の取組	5 児童図書資料の充実
	6 児童コーナー等の設置
	7 図書館職員の研修の充実
	8 おはなし会及び読み聞かせ会等の充実
	9 おすすめ絵本リストの作成
	10 子どもの読書活動推進のためのボランティアの育成
	11 小中学生に対する総合的な学習への対応
	12 図書館での職場体験の実施
	13 子どもの読書に関する講座・講演会の実施
	14 ブックスタート事業の実施
	15 児童館、公民館等への移動図書館車の巡回サービスの充実
3 学校の取組	16 学校図書資料の充実
	17 学校連携によるエコールの活用
	18 学校における読書活動の充実
	19 図書支援体制の充実
	20 教職員等への支援体制の充実
	21 子どもたちの図書館活動の推進
4 幼稚園・保育園の取組	22 乳幼児向けの本の収集など環境整備
	23 読み聞かせの機会の提供
	24 保護者を対象に読み聞かせの啓発活動
	25 本と子どもを結びつける人材の育成

## 市内の各図書館（エコール）の状況

(平成29年3月末現在)

施設名	建築年月等	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (千冊)	開架冊数 (千冊)	開架率 (%)	貸出冊数 (千冊)	備考
上田図書館	昭和45年9月 (昭和45年11月開館)	2,021	299.4	124.8	42	260.2	
上田図書館 創造館分室	昭和61年3月 (平成11年2月開設)	275	31.0	26.4	85	73.5	3階部分
上田情報 ライブラリー	平成15年12月 (平成16年4月開館)	1,125 (7階部分含)	61.5	52.3	85	84.9	4階と7階 (倉庫)部分
丸子図書館	平成24年3月 (平成24年5月開館)	1,640	116.9	90.6	78	175.9	
真田図書館	平成22年11月 (平成22年11月開館)	1,367	58.0	45.4	78	55.3	自治C共有部 分有
武石公民館 図書室	昭和48年10月 (昭和48年10月開設)	101	8.3	7.8	94	4.0	エコール接続は 平成21年3月
合 計		6,126	575.1	347.3	60	653.8	

## 人口区分別蔵書冊数と県内他市の蔵書冊数

## 1 人口区分別蔵書冊数 (上位12市区) (平成28年3月末現在)

人口10万以上15万未満の市区		人口15万以上20万未満の市区	
自治体名	蔵書冊数(千冊)	自治体名	蔵書冊数(千冊)
長浜市	987	浦安市	1,189
東近江市	952	小平市	1,175
成田市	945	立川市	898
武蔵野市	881	磐田市	826
刈谷市	863	日野市	806
一関市	805	西東京市	805
諫早市	804	佐倉市	744
箕面市	773	日立市	743
彦根市	772	出雲市	722
飯田市	754	三鷹市	720
北見市	753	西尾市	717
多摩市	730	東村山市	700

【出典:日本の図書館 統計と名簿 2016】

## 2 県内他市の蔵書冊数

(奉仕対象人口:平成28年4月1日現在、蔵書冊数:平成29年3月末現在)

自治体名	奉仕対象人口	蔵書冊数(千冊)	自治体名	奉仕対象人口	蔵書冊数(千冊)
長野市	376,094	1,001	中野市	43,657	252
松本市	242,551	1,190	大町市	27,745	133
岡谷市	49,798	232	飯山市	21,139	121
飯田市	101,045	784	茅野市	55,666	206
諏訪市	49,722	240	塩尻市	66,977	468
須坂市	50,621	203	佐久市	99,201	420
小諸市	42,273	138	千曲市	60,039	249
伊那市	67,946	398	東御市	30,016	147
駒ヶ根市	32,612	175	安曇野市	95,051	397
	参考	エコール全体			907

【出典:平成29年度 長野県公共図書館概況】

## 策定経過等

## 1 図書館基本構想策定の経過

年	月日	会議等	内容
平成28年	6月中旬～ 7月中旬	各図書館で利用者 アンケートの実施	利用者からの意見聴取
	7月15日(金)	図書館協議会 第1回検討会議	諮問、指定管理者制度、 民間委託、外部人材の登用
	8月26日(金)	図書館協議会 第2回検討会議	中央図書館、地域図書館、 エコール(機能と役割分担)
	9月23日(金)	図書館協議会 第3回検討会議	施設整備(上田図書館、創造館 分室、武石公民館図書室)
	10月28日(金)	図書館協議会 第4回検討会議	その他(図書館サービス)
	11月22日(火)	答申	答申
平成29年	1月23日(月)	第6期第3回 社会教育委員会議	諮問
	3月24日(金)	第6期第4回 社会教育委員会議	上田図書館内及び建物外観等 見学、基本構想素案について (説明)
	5月11日(木)	第6期第5回 社会教育委員会議	基本構想素案について(審議)
	5月25日(木)	第6期第6回 社会教育委員会議	〃
	7月28日(金)	第6期第7回 社会教育委員会議	〃
	9月8日(金) ～ 9月22日(金)	市民からの意見募集の実施 広報うえだ9月1日号に意見募 集記事を掲載。市ホームペー ジ、行政資料コーナー等に基 本構想(素案)を公表	市民から意見を募る (パブリックコメント)
	10月6日(金)	第6期第8回 社会教育委員会議	基本構想素案について (最終確認)
	10月30日(月)	第6期第9回 社会教育委員会議	答申

## 2 諮問・答申

### ○ 図書館協議会

平成28年7月15日

上田市図書館協議会  
会長 中澤 武 様

上田図書館長兼丸子図書館長兼  
真田図書館長 山崎 幸敏  
上田情報ライブラリー館長 飯島 和徳

#### 諮 問 書

次の事項について、図書館法第14条第2項に基づき諮問します。  
「第二次上田市図書館基本構想」の策定にあたり、今後の上田市の図書館のあり方について

#### (説明)

平成19年の「上田市図書館基本構想」策定後、平成22年には真田図書館、平成24年には丸子図書館が開館しました。

現在の図書館には、多様化する市民の生活や学習ニーズに、柔軟に対応できるサービス体制の確立や図書館施設の環境改善など、利便性の向上が求められています。

このような状況下、上田市全体の中での図書館のあり方や役割分担、施設の配置、さらには新しい時代の図書館運営まで含めた、各図書館のハード面からソフト面まで、地域の特色を活かした運営や、上田市全体を見据えた役割を考えていく時期となっています。

図書館基本構想の上位計画である第二次上田市総合計画、第二次上田市生涯学習基本構想が昨年度策定されたことから、今年度「第二次上田市図書館基本構想」の策定に着手します。

策定にあたり、今後の上田市の図書館のあり方について、貴協議会にご意見をいただきたく、諮問するものであります。

平成28年11月22日

上田図書館長兼丸子図書館長兼真田図書館長 山崎幸敏 様  
上田情報ライブラリー館長 飯島和徳 様

上田市図書館協議会  
会 長 中澤 武

#### 答 申 書

平成28年7月15日に開催された上田市図書館協議会において諮問のあった「第二次上田市図書館基本構想」について、当協議会の4回にわたる検討の結果、別紙「第二次上田市図書館基本構想【素々案】」のとおり答申します。

○ 社会教育委員

28上田図第75号  
平成29年1月23日

上田市社会教育委員  
代表 関 和 幸 様

上田市教育委員会  
教育長 小 林 一 雄

諮 問 書

上田市では、合併を機にそれぞれの地域の図書館の特徴も生かしながら、平成19年9月に図書館基本構想を策定しました。

その後、インターネットの急速な普及などもあり、従来の図書館サービスは大きく変化しており、図書館のあり方や新しい時代の図書館運営まで含めた、上田市全体の図書館像を考えていく時期となっています。

上田市の図書館が将来にわたってまちづくりの一端を担い、第二次上田市総合計画が掲げる将来像「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」の一助となるよう、図書館運営の指針となる新たな図書館基本構想の策定について諮問します。

平成29年10月30日

上田市教育委員会  
教育長 小 林 一 雄 様

上田市社会教育委員  
代表 関 和 幸

第二次上田市図書館基本構想の策定について(答申)

平成29年1月23日付け28上田図第75号で貴職から諮問のありました「第二次上田市図書館基本構想の策定」について、本社会教育委員会議において慎重に検討した結果、別冊のとおり答申します。

### 3 策定委員名簿

#### ○ 図書館協議会

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
◎中 澤 武	学 識 経 験 者	大 塚 なお美	ボランティアの視点
○新 山 昭 夫	行政評価の視点	小 竹 玲 子	図書館利用者団体
山 寄 庸 子	図書館利用者団体	中 西 満 義	学 識 経 験 者
横 山 佳 栄	図書館利用者団体	加 藤 茂 春	公 募

◎会長 ○副会長

#### ○ 社会教育委員

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
◎関 和 幸	社会教育関係者	金 子 昌 平	社会教育関係者
○犛 山 永 子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	竹 花 のり子	社会教育関係者
宮 島 渡	学 識 経 験 者	早 坂 淳	学 識 経 験 者
山 浦 美 幸	社会教育関係者	茨 木 信 行	学校教育関係者
青 木 千 浪	社会教育関係者	山 崎 利 夫	社会教育関係者

◎代表 ○代表代理

### 4 事務局名簿

氏 名	所 属
中 村 栄 孝	教育次長
小 林 薫	生涯学習・文化財課長
山 崎 幸 敏	上田図書館長、丸子図書館長、真田図書館長
飯 島 和 徳	上田情報ライブラリー館長

## 第二次上田市図書館基本構想

(平成30年2月発行)

発行・編集 上田市教育委員会 (生涯学習・  
文化財課、上田図書館、上田情報  
ライブラリー、丸子図書館、真田  
図書館)

(代表:上田図書館)

〒386-0018 上田市材木町一丁目2番47号

TEL 0268-22-0880 FAX 0268-28-1118

上田市ホームページ

<https://www.city.ueda.nagano.jp>